

財務レポート2017



学長メッセージ



宇都宮大学では、平成29事業年度財務諸表等を平成30年6月19日に文部科学大臣に提出いたしました。本学では、財務諸表等の内容を皆様方にご理解いただくために、平成22年度決算分から「Financial Report」を発行しており、今回の「Financial Report 2017」で8報目を数えます。

宇都宮大学は、第3期中期目標期間のスタートを迎えるにあたり、目指すべき4つのビジョン：①「行動的知性」の育成、②異分野を融合した柔軟な発想での新たな知の創造、③地域の強みを発揮するイノベーションの創出、④構成員一人ひとりの個性を活かした協働、を定め、その実現のために、5つの重点戦略：「地

域の“知”の拠点形成」、「地域人材育成の基盤強化」、「グローバルリーダーの育成」、「地域イノベーションの創出」、「ガバナンス改革」を設定し、これを「アクションプラン2016」として、事業に取り組んでおります。

2年目となる平成29年度は、国際学部を従来の2学科体制から1学科体制へと改組し、地域のみならず、世界で活躍する人材の育成機能の強化を図りました。また、厳しい財政状況の続く中、施設整備費補助金・目的積立金の活用により、昨年度スタートした地域デザイン科学部新校舎を整備、地域科学技術実証拠点整備事業に採択された、ロボティクス・工農技術研究所を整備しました。さらに現在、第四次産業革命、Society5.0などの社会の大きな変化を見据え、多様な分野の専門知を融合して新たな価値を創出する人材の育成や研究を目的とした、文理融合・分野融合の新しい大学院組織の開設に向け準備が進められております。

宇都宮大学は、このような様々な施策を推し進め、アクションプランの実現に向けて着実に歩みを進めております。

しかし、このような取り組みを進める中、予算の面においては、機能強化の方向性、評価の結果に応じ、運営費交付金の配分額が変わるといった仕組みが導入されるなど、国立大学は、これまで以上に厳しい競争的環境に置かれています。本学では、安定的な大学運営を目指し、平成29年度より「宇都宮大学3C基金」を創設し、寄付による自己財源の確保・財務基盤の充実を図るなどの努力を始めております。

この「Financial Report 2017」は、学生及び保護者の皆様、教職員、本学を志願される皆様、同窓生の皆様、地域の皆様、更には納税者たる国民の皆様等、本学を支えてくださる皆様方に対し、財務諸表だけでは伝わりにくい、本学の運営状況をお知らせするために作成しております。平易でわかりやすい内容となるよう心がけておりますので、是非ご高覧いただき、本学の活動状況を少しでもご理解いただければ幸いです。

第3期中期目標期間の宇都宮大学は、アクションプラン2016に掲げた4つのビジョン、5つの重点戦略の実現に向け、主体的に挑戦し（Challenge）、時代の変化に対応して自らを変え（Change）、社会に貢献する（Contribution）という、宇大スピリット「3C精神」のもとで、さまざまな改革に挑戦してまいります。

今後ともご支援賜りますようよろしくお願い申し上げます。

平成30年10月

学長 石田朋靖

UTSUNOMIYA UNIVERSITY FINANCIAL REPORT 2017

CONTENTS

学長メッセージ

- 01 宇都宮大学の基本的な目標
- 01 宇都宮大学の基本データ
- 02 財務ハイライト
- 03 宇都宮大学アクションプラン2016
【2016～2021年】
- 03 トピックス
- 06 学長戦略経費

07 国立大学法人会計の仕組み

平成29事業年度財務情報

- 09 貸借対照表
- 11 損益計算書
- 15 キャッシュ・フロー計算書
- 16 外部資金収入
- 17 財務面からみた宇都宮大学の課題
～有形固定資産の老朽化～
- 18 財務指標の比較
- 21 運営費交付金交付額推移表

- 22 在学生・受験生・保護者のみなさまへ
- 23 卒業生のみなさまへ
- 24 企業のみなさま・地域住民のみなさまへ
- 25 宇～太による農場生産物のご紹介
- 26 宇都宮大学施設貸付のご案内

平成29事業年度財務諸表等(詳細版)

- 27 貸借対照表
- 29 損益計算書
- 30 キャッシュ・フロー計算書
- 31 国立大学法人等業務実施コスト計算書
- 32 決算報告書
- 33 「宇都宮大学3C基金」へのご協力をお願い



写真/地域デザイン科学部棟新校舎



写真/ロボティクス・工農技術研究所 (REAL)



写真/ロボティクス・工農技術研究所 (REAL)



宇都宮大学の基本的な目標

宇都宮大学は「人類の福祉の向上と世界の平和に貢献する」という理念の下で、栃木県の多様で豊かなフィールドを活かした実践的な教育・研究を基盤として、社会の中核を担う人材の育成と知の創造・発信を着実に重ねてきました。

第3期中期目標期間は、「活力ある持続可能な地域社会の形成」、「グローバル化社会への対応」、「イノベーション創出」を基本方針とおき、「行動的知性」を備え広く社会の発展に貢献する人材の育成、独創的な特色ある研究による新たな「知」の創造、地域やステークホルダーとの双方向性を高めた活動を積極的に進め、地域の知の拠点としての機能を一層強化します。

そのため、構成員相互の信頼と協働を重んじながら、組織や学生・教職員それぞれが、主体的に挑戦し（Challenge）、自らを変え（Change）、社会に貢献する（Contribution）という3C精神をモットーにして、躍動感溢れ進化を続ける大学を目指します。

宇都宮大学の基本データ

| | 学部学生 | | 大学院学生 | |
|-----|---|----------|------------------------------------|------------|
| 学 生 | 4,071名 | | 修士 | 742人 |
| | | | 博士 | 92人 |
| | | | 専門職学位 | 33人 |
| 教職員 | 全体 | 教員 | 職員 | |
| | 634人 | 426人 | 208人 | |
| 組 織 | 学部 | | 大学院 | |
| | 5 学部 | | 4 研究科 | |
| | 地域デザイン科学部 国際学部 教育学部 工学部 農学部 | | 国際学研究科 教育学研究科 工学研究科 農学研究科 | |
| 土 地 | 全体 | 峰地区 | 陽東地区 | その他 |
| | 8,921,285㎡ | 237,263㎡ | 178,373㎡ | 8,505,649㎡ |

平成30年5月1日現在

詳細は宇都宮大学概要DATA BOOK2018 <http://www.utsunomiya-u.ac.jp/outline/kouhou.php>

教員数には附属学校園教諭数84名を含んでおります。

財務ハイライト

単位（百万円）

| 財務諸表 | 科目 | 平成28年度 | 平成29年度 | 増減 |
|--------------|---|---|--------|-------|
| | 3月31日における財政状態を明らかにするものです。 | | | |
| 貸借対照表 | 資産 | 80,413 | 81,002 | 588 |
| | 主なもの(土地) | 61,372 | 61,372 | - |
| | (建物・構築物) | 11,973 | 12,491 | 518 |
| | (その他有形固定資産) | 4,195 | 4,106 | ▲ 88 |
| | 負債 | 8,591 | 8,891 | 299 |
| | 純資産 | 71,821 | 72,110 | 288 |
| | 4月1日～3月31日の1年間の運営状況を明らかにするもので、費用、収益や利益の発生状況を表します。 | | | |
| 損益計算書 | 費用 | 9,988 | 9,942 | ▲ 45 |
| | 収益 | 10,021 | 10,046 | 24 |
| | 主なもの(運営費交付金収益) | 5,656 | 5,515 | ▲ 141 |
| | (学生納付金収益) | 2,784 | 2,808 | 23 |
| | (外部資金収益) | 871 | 991 | 120 |
| | 当期総利益 | 126 | 130 | 4 |
| | 4月1日～3月31日の1年間の資金の流れを一定の活動別に区分して表します。 | | | |
| キャッシュ・フロー計算書 | 業務活動 ：通常の業務実施に係る資金状態 | 831 | 654 | ▲ 177 |
| | 投資活動 ：将来の運営基盤を確立するための資金状態 | ▲ 308 | ▲ 415 | ▲ 107 |
| | 財務活動 ：借入及び返済等の資金状態 | ▲ 4 | ▲ 118 | ▲ 114 |
| | 資金期末残高 | 2,078 | 2,197 | 119 |
| | | 教育・研究の業務運営に要した費用(コスト)のうち、国民の税金で賄われている金額を表します。 | | |
| 業務実施コスト計算書 | 業務実施コスト | 6,687 | 6,586 | ▲ 100 |
| | 年度計画における予算額と実際に執行した決算額を対比することで、予算の見積りとその後の事業の推移を明らかにするものです。 | | | |
| 決算報告書 | 収入 | 10,288 | 10,915 | 626 |
| | 支出 | 9,950 | 10,733 | 783 |
| | 収入-支出 | 338 | 182 | ▲ 156 |

本レポートでは単位未満を切り捨て表示しており、合計額が一致しない場合があります。
外部資金収益は、受託研究収益、共同研究収益、受託事業等収益、寄附金収益及び補助金等収益の合算額としています。

○宇都宮大学アクションプラン2016【2016～2021年】 ～地域の変革をリードする「知の拠点」～

宇都宮大学は、“地域に学び、地域に返す、大学と地域の支え合い”の姿勢を基本理念とし、地域の変革をリードする「知の拠点」として、目指すべき4つのビジョンを定めております。

VISION 1

「行動的知性」の育成

豊かな教養と高い専門性を基盤として、キャンパスを飛び出し、地域や世界の現実社会でたくましく行動する人材を育成します。

VISION 2

異分野を融合した柔軟な発想で新たな知の創造

専門性を超えた自由闊達な交流や協働を通して、新たな知や価値の創造に挑戦するとともに、学生にもそうしたマインドを育みます。

VISION 3

地域の強みを発揮するイノベーションの創出

地域の産業界、行政、金融機関等との連携を一層強め、地域独自（オンリーワン）のイノベーションを生み出します。

VISION 4

構成員一人ひとりの個性を活かした協働

教職員の個性に合った能力の開発を進めるとともに、構成員の多様な意見を踏まえながら、所属・職位・職種を越えた協働（オール宇大）を進めます。

○トピックス

VISION 1

○学生の学修成果の可視化

本学が教育目標とする「行動的知性」（「3C精神」）を軸として「知」と「行動力」を統合した汎用的能力を備えた人材を育成するため、学修評価システムを更新して学修ポートフォリオを統合させることで、これまで教員の主観に委ねられてきた「行動的知性」の到達度をレーダーチャートや「3C到達度チェックシート」により可視化し、学生が自らその学びを客観的に振り返ることができるようになりました。あわせて、アクティブラーニング対応教室の施設整備等を実施することで、学生の学習意欲向上と質改善につなげるとともに、データの分析等を通して効果的な教育・指導に活用していきます。

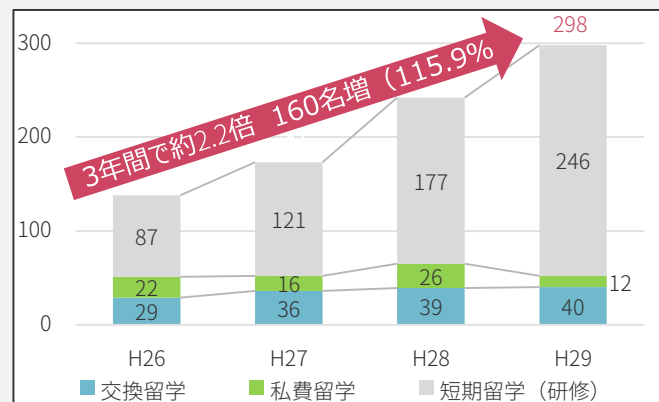
3C到達度チェックシート（構成要素）

| 3C | 9つの力 | 構成要素 |
|-------------------------|-------------------------------------|--|
| 社会に対応する Change | 課題を見つけ出す力 Problem identification | 授業における学びから興味を広げることができる 自ら見出している状況と認識することができる 現状を分析し、目的や課題を発見することができる 知識を体系的に理解することができる |
| | 論理的に考える力 Critical thinking | 複数の視点から物事をとらえることができる 複数の観点から物事をとらえることができる |
| | 情報を使いこなす力 Information literacy | 手段を適切に選んで情報を収集することができる 目的に応じた情報や情報源を選択することができる 情報の真偽を判断し、自分の立場を論理的に発信することができる 自分の考えを他の人に分かり易く示すことができる |
| 自ら進める Change | 表現する力 Communication | シミュレーションを用いて、説明し、表現することができる 特定の外国語を用いて、読み、書き、聞き、話すことができる |
| | 他者と協同する力 Collaboration | 多様な人々とコミュニケーションを図ることができる 他の人の強みにつなぐ力を発揮することができる 意見の違いや立場の違いを理解することができる |
| | キャリアデザイン力 Life and career | 自分の長所や得意分野を見つけ出すことができる なりたいたい自分をイメージすることができる 目標を設定し、計画を立てることができる 新しいアイデア・思い・成果物を創造できる |
| 社会に貢献する Contribution | 生み出す力 Creativity | 現状を分析して改善案を案出することができる 自律的な学習を行うことができる |
| | チームワークを育む力 Teamwork | ルールを作り、また守ることができる 多様性を尊重して物事を進めることができる 必要とされる役割を果たして行うことができる |
| | 地域に踏み出す力 Citizenship | 新しいことに挑戦し、新たな価値を創出することができる 社会の一員としての責任を持ち行動をおこすことができる 地域の活動に積極的に関わることができる |

○海外留学機会の拡充

地域のグローバル化や地域からのグローバル化に対応できる人材を育成するため、海外留学機会の拡充を図る取組として、タイのカセサート大学にサテライトオフィスを設置、海外卓越校・協定校への派遣・招聘等による交流拡大や短期語学留学や国際インターンシップへの助成等を実施しました。

その結果、右図の通り学生の海外派遣が増加しました。



VISION 1

○「宇都宮大学3C基金」創設

本学は、今までたくさんのご支援をいただいております「宇都宮大学基金」を発展的に拡大し、宇都宮大学らしい強みをさらに伸ばし、財政的基盤を強化させるため、さらなる寄附金獲得をめざす「宇都宮大学3C基金」を創設しました。

積み立てられた寄附金は学生支援のほか、教育研究活動支援、地域貢献活動支援、キャンパス環境の整備・充実等に活用する予定です。



3C基金から支援した、陽東キャンパス内にある石井会館が食事、勉強、休憩に、自由に使える空間としてリニューアル

○アクティブ・ラーニングコモンズを備えたコンビニエンスストア開店

本学保有資産の有効活用等の観点から陽東地区にコンビニエンスストアを誘致し、平成29年12月15日に「ミニストップ宇都宮大学陽東キャンパス店」がオープンしました。

同建物内にアクティブ・ラーニングコモンズ（82.8㎡90席）が設置されて学生の学習環境の向上が図られたほか、教職員、地域住民等の利便性が向上しました。



VISION 2

○新大学院「地域創生科学研究科」設置に向けて

持続可能で豊かな地域社会の創生に貢献する人材を育成するため、現在の4研究科を再編・統合して「地域創生科学研究科」を新設すべく平成29年度は企業へのニーズ調査等の準備を進めてきたところです。

この研究科は平成30年8月に行われた大学設置・学校法人審議会での審議の結果、設置が認められ、平成31年4月の開設に向け準備が進められています。

改組後（2研究科3専攻16教育プログラム）

地域創生科学研究科（修士課程）

入学定員335名

社会デザイン科学専攻

入学定員77名
（文理融合・文理融合による学際領域）

地域・国・世界の発展・創生を支える教育研究の推進

- コミュニティデザイン学プログラム
- 農業・農村経済学プログラム
- 建築学プログラム
- 土木工学プログラム
- 農業土木学プログラム
- グローバル・エリアスタディーズプログラム
- 多文化共生学プログラム
- 地域人開発支援学プログラム

工農総合科学専攻

入学定員258名
（工農融合による学際領域）

地域イノベーションの創生を支える教育研究の推進

- 光工学プログラム
- 分子農学プログラム
- 物質環境化学プログラム
- 農芸化学プログラム
- 機械知能工学プログラム
- 情報電気電子システム工学プログラム
- 農業生産環境保全学プログラム
- 森林生産保全学プログラム

地域創生リテラシー

高度な科学リテラシーとして、学際的思考力と実践力を養成

教育学研究科（専門職学位課程教職大学院）

入学定員18名

● 教育実践高度化専攻

○宇大未来塾「とちぎ志士プログラム」開講

本学の教育資源を活用するとともに、県内の公的機関・経済団体等と連携して、栃木県内の経済界・地域社会を担う地域のニューリーダーを育成するため、平成29年10月より栃木県知事を始めとする地域のトップリーダーが講師を務める『宇大未来塾』「とちぎ志士プログラム」を開講しました。これら講師陣とは講義のみならず合宿を行って深い議論を交わすなど高密度のプログラムとなっており、初年度の平成29年度は、第1期生として修了生24名を輩出しました。



VISION3

〇ロボティクス・工農技術研究所（REAL）の整備

平成28年度に採択となった「大学発革新技術で新たな地域新産業を創出するイノベーションファーム構築」事業（国立大学法人施設整備費補助金（補正予算））及び「地域科学技術実証拠点整備事業」（文部科学省）（総額8.3億円）に基づき整備してきた「ロボティクス・工農技術研究所（Robotics, Engineering and Agriculture-technology Laboratory: REAL）」が完成し、平成30年度から実証プロジェクトが本格的にスタートしました。

このプロジェクトは、産官学が密に連携することで、革新的な技術開発や新産業の創出を見据えた事業化、人材育成を目指すもので、プロジェクトのベースとなる本学独自の技術としては、1)本学発ベンチャーが開発したイチゴ個別包装器「フレッシュル®」により、完熟状態で収穫したものを鮮度を保持したまま輸送する「超鮮度維持輸送技術」、2)人間と同じ色域、色感覚のカメラを搭載した観察ロボットを製作し、良品イチゴの判定や病気を早期に検出する「人視感覚カメラによる色解析」技術、3)磁場地図を併用することで位置修正能力を飛躍的に向

上させ、環境の変化に強いロボットの自立移動を可能にする「磁気ナビゲーション」技術、4)顕微鏡型ロボットを使って花粉を抽出する革新的な「花粉レベルの新品種開発」技術の4つとなります。REALは、これらの先端技術を核として、工農融合、産官学連携により栃木県で新産業創出を目指していきます。



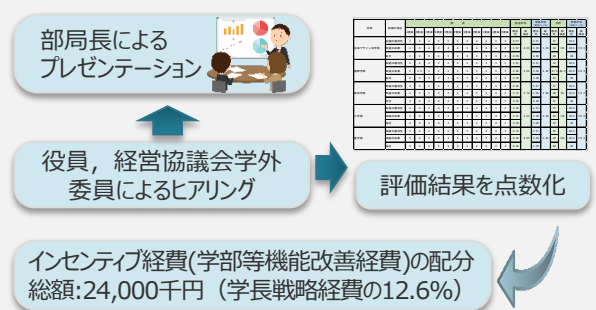
VISION4

〇ガバナンス改革（部局評価・教員評価）

ガバナンス改革として新たな内部質保証システムによる部局評価を開始しました。中期目標・中期計画をベースとしつつ、各学部が自主性・独自性をもって運営にあたることに重点を置き、そのための仕組みとして、各学部の重点的取組と独自の取組を設定する「年度計画プラス（計画Ax）」を取り入れ、これに基づいて運営した実績を評価し、その結果に基づきインセンティブ経費を配分することとしました。

また、平成28年度から教員評価WGを設置して新たな教員評価制度の構築に取り組み、平成29年度に全学的な試行評価の実施を行った上で意見の集約を行い、これらを反映して新たな教

員評価制度を構築しました。併せて評価結果を処遇に反映する仕組みも導入し、教員の諸活動の活性化を図りました。



〇男女共同参画・女性研究者研究活動推進

教育研究及び大学運営における男女共同参画と、女性研究者がその能力を最大限に発揮できるよう、出産・子育て等のライフイベント支援やリケジョ（理系女子）カフェを開催しました。

また、女性研究者の活用を促進するため、平成27年度より導入している、学長戦略経費による女性教員採用特別制度を活用し、学部配分している教員ポイント外での雇用を促進したところ、農学部において1名の女性教員を採用しました。その結果、女性教員比率は平成29年度末時点で18.0%となり、国立大

学平均値（16.2%）を上回り、大学別ランキング30位（前回調査42位）にアップしております。



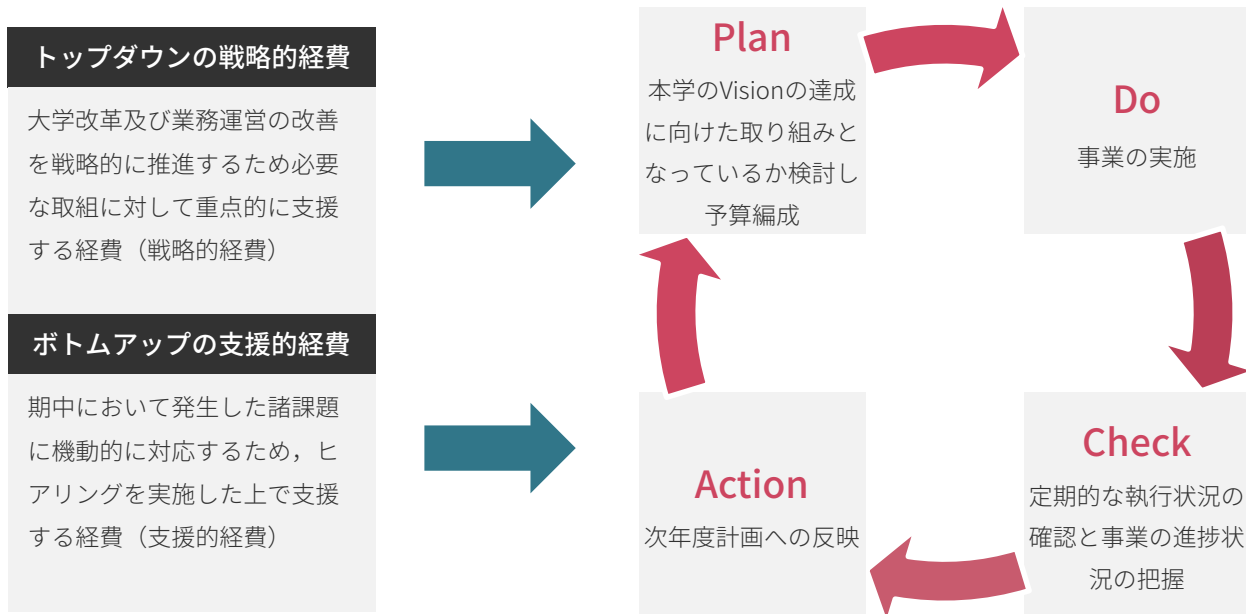
○学長戦略経費

宇都宮大学では、学長のリーダーシップの下、大学改革を促進し、4つのVISIONを達成するため、学内予算編成において『学長戦略経費』を計上しています。

前述のトピックスで取り上げた事業はこの予算を活用して事業を展開し、実現しております。

今後も『学長戦略経費』を活用して、本学の強み・特色となる教育の醸成や教育研究活動の活性化に資する取組を推進いたします。

○学長戦略経費配分プロセス



○平成29年度の主な活用状況

平成29年度『学長戦略経費』予算額：1.9億円

| | | |
|----------|-------------------------|-------|
| VISION 1 | 学生の学修成果の可視化 | 42百万円 |
| | 海外留学機会の拡充 | 25百万円 |
| VISION 2 | 新大学院「地域創生科学研究科」設置に向けて | 10百万円 |
| | 宇大未来塾「とちぎ志士プログラム」開講 | 7百万円 |
| VISION 3 | ロボティクス・工農技術研究所（REAL）の整備 | 6百万円 |
| VISION 4 | ガバナンス改革（部局評価・教員評価） | 26百万円 |
| | 男女共同参画・女性研究者研究活動推進 | 14百万円 |

※上記の金額は学長戦略経費の配分額であり、その事業の所要額のすべてではありません。

また、金額にはその事業に関連する事業の金額も含んでおります。

1 国立大学法人と民間企業の違い

民間企業と国立大学法人ではその設立目的も求められる役割も異なります。民間企業ではステークホルダーの利益最大化、企業価値最大化が最大の使命。一方、国立大学法人は

教育研究に対する国民の要請にこたえとともに、我が国の高等教育及び学術研究の水準の向上と均衡ある発展を図る
 (国立大学法人法第1条)
 その業務の財源に充てるために必要な金額の全部又は一部に相当する金額を交付することができる。
 (準用独立行政法人通則法第46条)

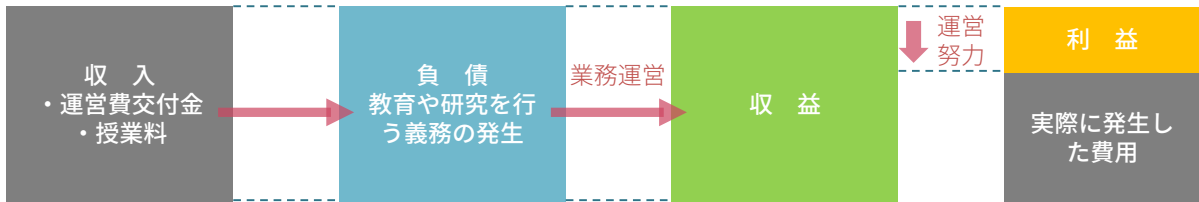
と定められているとおり、公共的な性格を有し、利益の獲得を目的とせず、独立採算性を前提としない等の独立行政法人の特性に加え、主たる業務内容が教育・研究である等の特性を持っています。そのため、通常の業務運営を行った場合には、基本的には利益は生じず、損益が均衡する仕組みとなっています。

| 区分 | 活動の目的 | 利益の獲得 |
|------|---|---|
| 民間企業 | <ul style="list-style-type: none"> ・ステークホルダーの利益最大化 ・企業価値最大化 | <ul style="list-style-type: none"> ・目的とする |
| 国立大学 | <ul style="list-style-type: none"> ・公的性格を有する教育・研究の実施 | <ul style="list-style-type: none"> ・目的としない |

2 収益の考え方

民間企業の場合は、「売上＝収益」となりますが、国立大学法人の場合は「収入＝収益」となりません。

国からの運営費交付金や学生からの授業料などの収入は「教育や研究を行う義務の発生＝負債」と考えます。国立大学法人会計における収益とは、国立大学法人が実施した業務に要した費用に対する収入源を示すものとなっています。

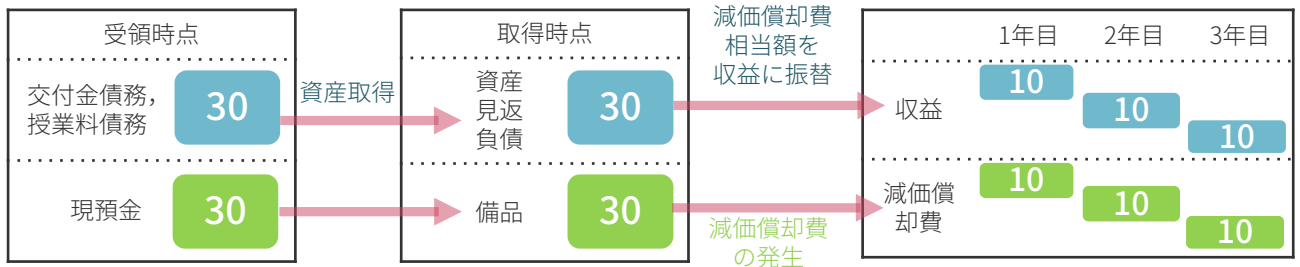


教育研究などの業務が進行した場合、教育研究に関する業務を実施する義務を果たしたことになるため収益が実現したと考えます。

3 損益均衡を前提とした会計処理

運営費交付金や授業料を受領したときは、行うべき業務として債務認識（負債に計上）し、行うべき業務を実施すると、その相当額を収益化の基準に従って収益化する仕組みとなっています。また、一般的に固定資産を運営費交付金などで取得した場合、取得原価相当額を資産見返負債として計上することで、収益計上を一旦留保します。その後、留保された金額から減価償却費相当額を毎年収益に振り替えていきます。

このように、国立大学法人は、通常の業務を行えば損益が均衡するように制度設計されています。



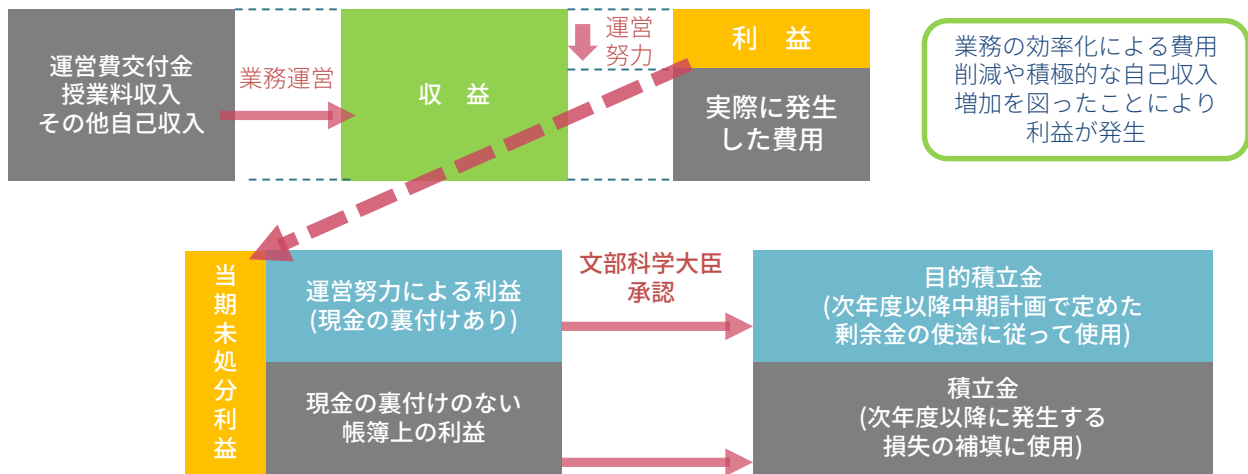
4 国立大学法人の利益

(1) 通常の事業年度

国立大学法人には、民間企業における株主のような営利目的の資本主が存在しませんので、利益を配分等して外部に分配することはありません。また、国立大学法人の利益は、「運営努力により生じた利益」と、「現金の裏付けのない帳簿上の利益」の2つに大別されます。

「運営努力により生じた利益」とは、業務の効率化による費用削減や積極的な自己収入増加を図ったことにより発生した利益です。

「現金の裏付けのない帳簿上の利益」とは、収益の発生年度が費用の発生年度より先行することにより生じる利益であり、次年度以降に発生した損失の補填に使用することとなります。



(2) 中期目標期間の最終事業年度

中期目標期間の最終事業年度（第3期中期目標期間は平成33年度）の利益処分は、通常の事業年度と異なります。最終事業年度の未処分利益や前中期目標期間繰越積立金の残高をすべて積立金として整理し、積立金の処分を行います。

当該積立金については、文部科学大臣の承認を得たものに限り「次期中期目標期間繰越積立金」として次期中期計画に定めた積立金の使途に従って使用することができます。それ以外は国庫納付金として国へ返還します。



5 財務諸表と決算報告書

財務諸表と決算報告書は、作成基準が異なります。

財務諸表

「国立大学法人会計基準」に従って作成するものです。貸借対照表の「当期末処分利益」と損益計算書の「当期総利益」は一致します。

決算報告書

国の会計基準に準じて、現金主義を基礎としつつ出納整理期の考え方を踏まえて、作成するものです。

| 貸借対照表 | |
|-------|---------|
| 資産 | 負債 |
| | 純資産 |
| | 当期末処分利益 |

| 損益計算書 | |
|-------|----|
| 費用 | 収益 |
| 当期総利益 | |

≠

損益計算書の「当期総利益」と決算報告書の「収入-支出」は、作成基準が異なるため一致しません。

| 決算報告書 | |
|-------------------------------|-------------------|
| 運営費交付金 補助金 自己収入 外部資金 | 業務費 施設費 補助金 |
| 収入-支出 | |

貸借対照表

単位：百万円

| 資産の部 | H28年度 | H29年度 | 増減 | 負債の部 | H28年度 | H29年度 | 増減 |
|------------|---------------|---------------|------------|-----------------|---------------|---------------|------------|
| ○固定資産 | 77,789 | 78,261 | 471 | 資産見返負債 | 5,998 | 6,048 | 49 |
| 土地 | 61,372 | 61,372 | 0 | 長期借入金 | 59 | 55 | ▲3 |
| 建物 | 11,290 | 11,674 | 383 ① | 寄附金債務 | 658 | 697 | 38 |
| 構築物 | 682 | 816 | 134 | 未払金 | 1,128 | 1,396 | 268 |
| 工具器具備品 | 789 | 875 | 85 | その他 | 746 | 693 | ▲52 |
| 図書 | 3,088 | 3,097 | 9 | 負債計 | 8,591 | 8,891 | 299 |
| 美術品・収蔵品 | 65 | 100 | 34 ② | 純資産の部 | H28年度 | H29年度 | 増減 |
| 建設仮勘定 | 224 | - | ▲224 ③ | 資本金 | 73,540 | 73,540 | - |
| 投資有価証券 | 115 | 165 | 49 | 資本剰余金 | ▲2,281 | ▲1,873 | 408 |
| その他 | 160 | 158 | ▲1 | ○利益剰余金 | 562 | 443 | ▲119 |
| ○流動資産 | 2,623 | 2,741 | 117 | 前中期目標期間繰越積立金 | 436 | 186 | ▲250 ④ |
| 現金・預金 | 2,190 | 2,307 | 117 | 目的積立金 | - | 126 | 126 ⑤ |
| 未収入金 | 128 | 74 | ▲54 | 当期未処分利益 | 126 | 130 | 4 |
| 有価証券 | 291 | 350 | 59 | 純資産計 | 71,821 | 72,110 | 288 |
| その他 | 12 | 8 | ▲4 | 負債・純資産合計 | 80,413 | 81,002 | 588 |
| 資産計 | 80,413 | 81,002 | 588 | | | | |

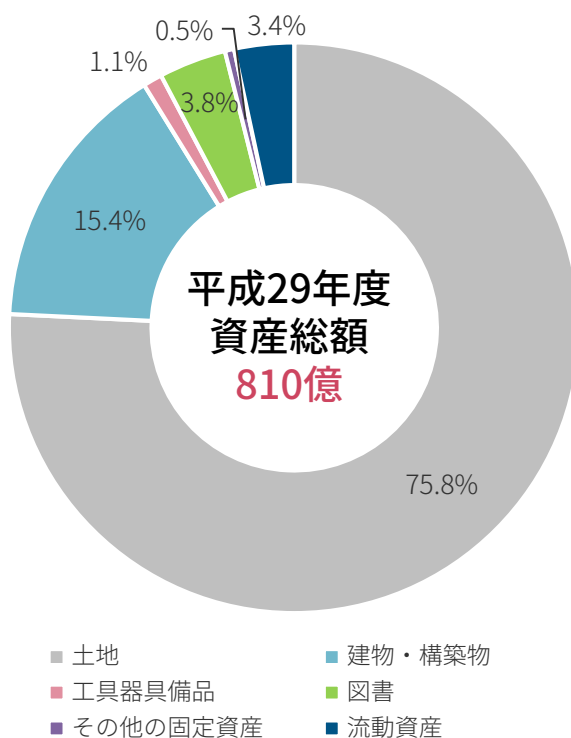
○概要

貸借対照表は決算日（3月31日）における本学の全ての資産、負債及び純資産を記載することによりその財政状態を明らかにすることを目的としています。

この表からは平成29年度末時点において、長期借入金を含む約89億円の負債と国からの出資等による約721億円の純資産から形成された土地、建物など約810億円の資産を用いて教育研究等の業務活動を行っている構造が読み取れます。

資産の9割以上は土地、建物等の固定資産により構成され、平成16年4月の国立大学法人化により国から承継されたものも含まれています。

純資産には、主に国立大学法人化の際に国から承継した資産から負債を差し引いた額からなる資本金（政府出資金）の他に、資本の増減取引により発生する資本剰余金と、損益計算より生じる利益から構成された利益剰余金があります。



○主な特記事項

- ① 地域デザイン科学部棟，ロボティクス・工農技術研究所の竣工に伴い増加しています。
- ② 峰ヶ丘講堂が登録有形文化財に，フランス式庭園が登録記念物に登録されたことに伴い増加しています。
- ③ 地域デザイン科学部棟などの竣工に伴い減少しています。
- ④ 地域デザイン科学部棟建設のための予算執行に伴い減少しています。
- ⑤ 前年度の未処分利益が目的積立金として承認されたことに伴い増加しています。



○地域デザイン科学部棟新校舎竣工

総工費：5.7億円

- ・前中期目標期間繰越積立金：2億円
- ・施設整備費補助金：3.3億
- ・授業料：0.4億



○峰ヶ丘講堂が平成29年6月に登録有形文化財に登録

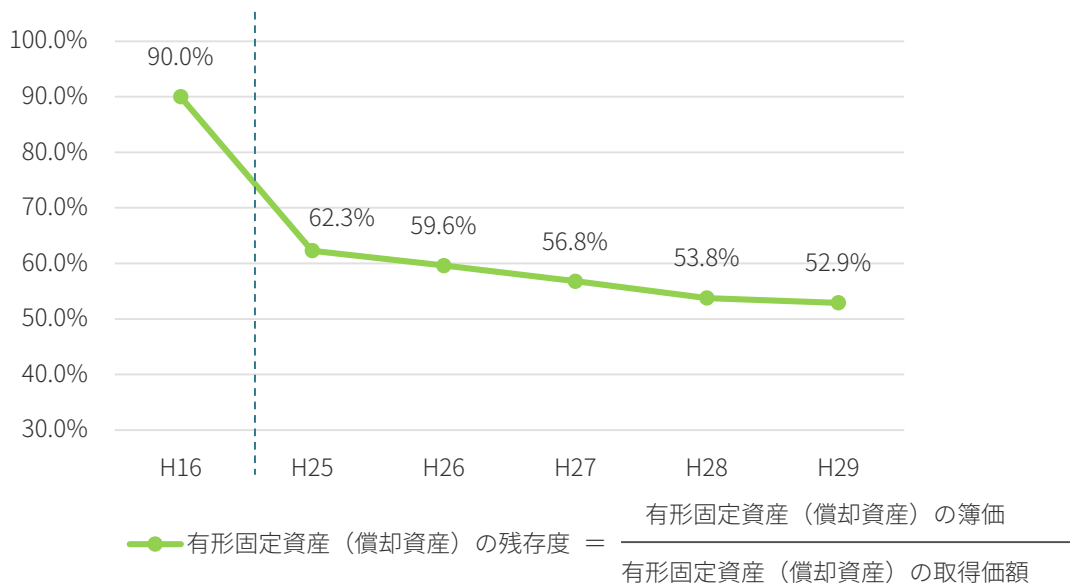


○フランス式庭園が平成29年10月に登録記念物に登録

○有形固定資産の老朽化状況

有形固定資産（償却資産）の残存度は，年々低下していることから，施設・設備といった資産への投資以上に，既存設備の老朽化・陳腐化が進行していることがわかります。

したがって，教育研究に対するニーズを踏まえ，施設・設備の整備を進めるとともに，老朽化した資産の更新投資を行っていくことが重要です。



損益計算書

単位：百万円

| 経常費用 | H28年度 | H29年度 | 増減 |
|---------------|--------------|--------------|------------|
| 教育経費 | 1,142 | 1,212 | 70 |
| 研究経費 | 616 | 748 | 132 |
| 教育研究支援経費 | 269 | 265 | ▲4 |
| 受託研究費等 | 500 | 533 | 33 |
| 人件費 | 7,015 | 6,753 | ▲262 |
| 一般管理費 | 426 | 420 | ▲6 |
| その他の費用 | 17 | 9 | ▲8 |
| 経常費用合計 | 9,988 | 9,942 | ▲46 |
| 臨時損失 | 9 | 8 | ▲1 |
| 計 | 9,997 | 9,951 | ▲46 |
| 当期総利益 | 126 | 130 | 4 |

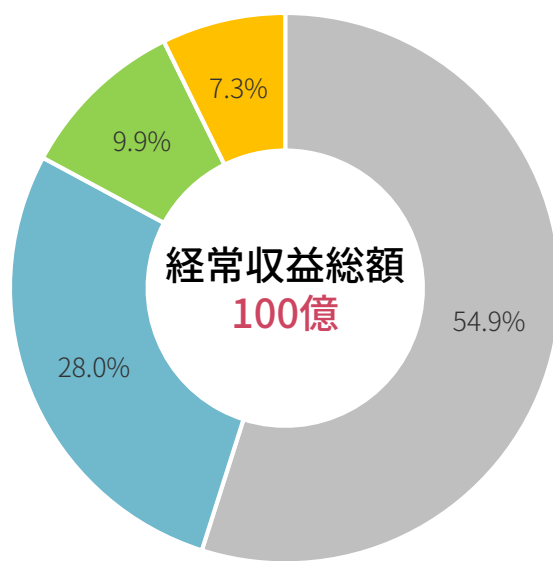
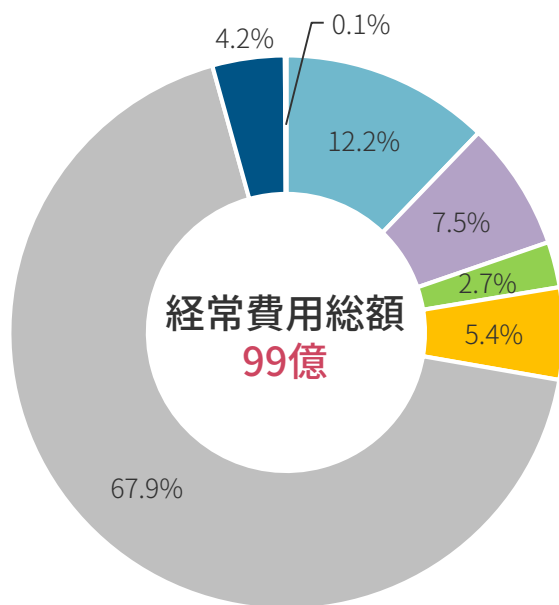
| 経常収益 | H28年度 | H29年度 | 増減 |
|---------------------|---------------|---------------|------------|
| 運営費交付金収益 | 5,656 | 5,515 | ▲141 |
| 学生納付金収益 | 2,784 | 2,808 | 23 |
| 受託研究収益等 | 501 | 535 | 33 |
| 寄附金収益 | 168 | 193 | 25 |
| 施設費収益 | 10 | 29 | 19 |
| 補助金等収益 | 201 | 262 | 60 |
| 資産見返戻入 | 384 | 402 | 18 |
| 財務収益・雑益等 | 314 | 299 | ▲14 |
| 経常収益合計 | 10,021 | 10,046 | 24 |
| 前中期目標期間繰越 積立金取崩額 | 102 | 34 | ▲67 |
| 計 | 10,123 | 10,081 | ▲42 |

○概要

損益計算書は事業年度内に本学が実施した事業等により発生したすべての費用と収益を記載することにより、その運営状況を明らかにしています。費用の側には教育、研究等の目的別に、収益の側には国からの交付金や学生納付金による収益等を財源別に計上しています。

国立大学法人等の場合は、業務を行うために必要な経費を予算化し（＝収益）、使用しています（＝費用）。したがって、基本的に予算の範囲内で業務を行うことが前提となるため、予定されている事業が予定どおり行われれば損益が均衡する仕組みとなっています。そのような仕組みの中で、発生する利益は国立大学法人等の業務運営の効率化等の結果（経費の節減、自己収入の増加）です。

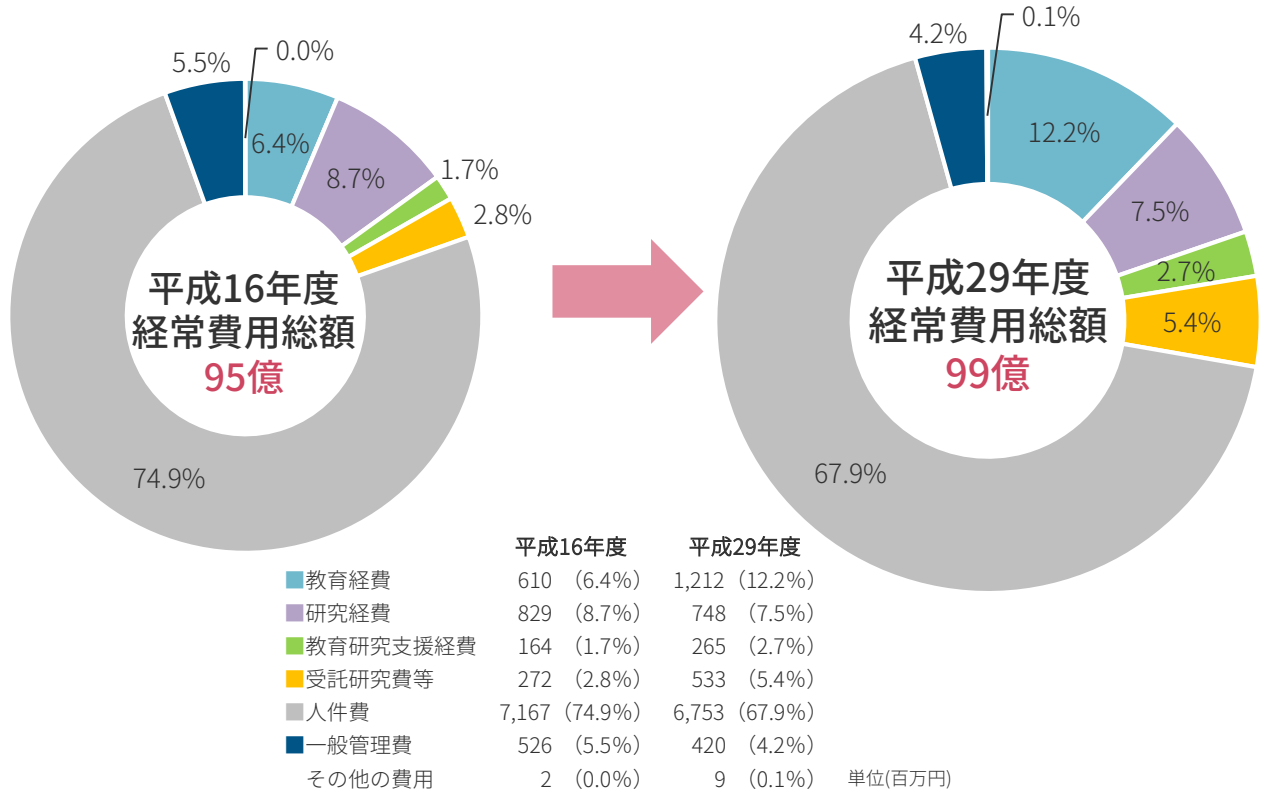
利益が生じた場合は、文部科学大臣の承認を受けた後、中期計画で定めた用途に充てることができます。



- 教育経費
- 研究経費
- 教育研究支援経費
- 受託研究費等
- 人件費
- 一般管理費
- その他の費用

- 運営費交付金収益
- 学生納付金収益
- 外部資金収益
- その他収益

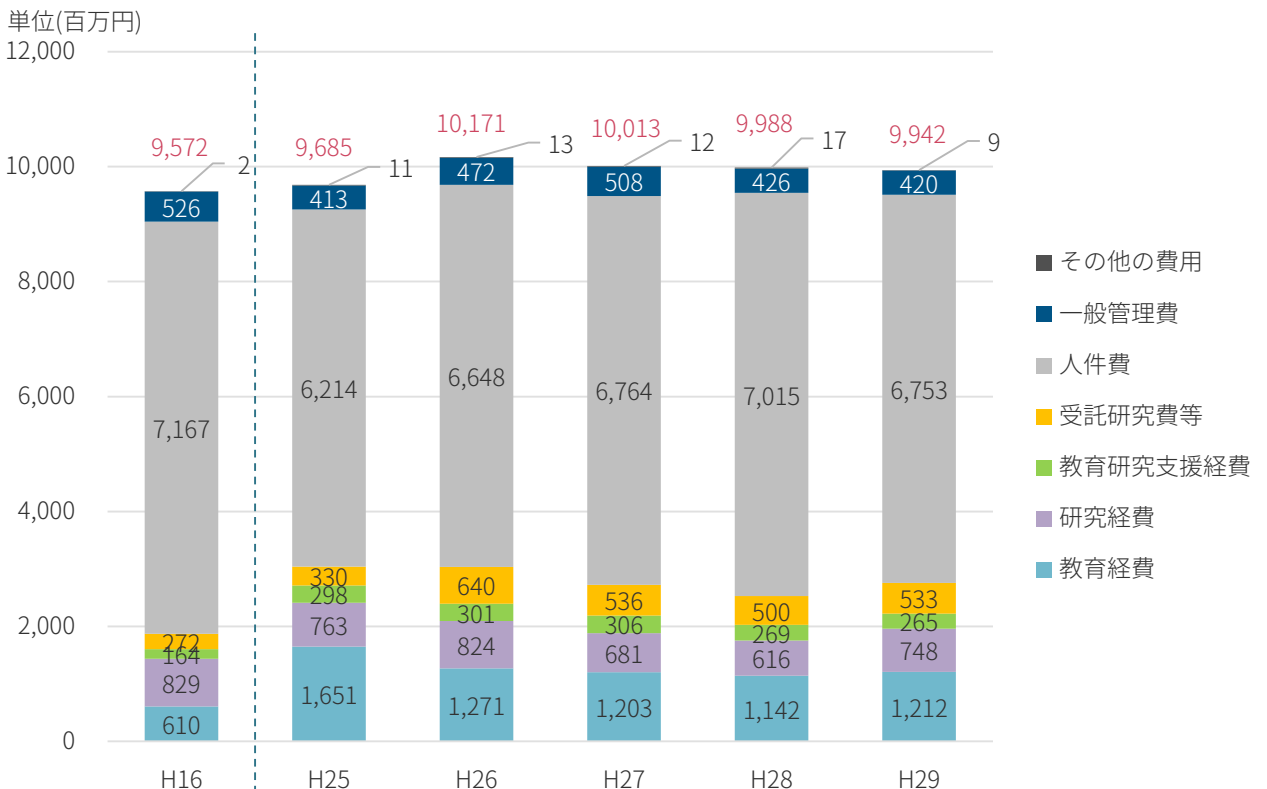
○経常費用の構成



平成16年度（国立大学法人化の初年度）と比べ、経常費用合計に占める人件費のシェアが減少しています。その一方で、教育経費のシェアが増加しています。

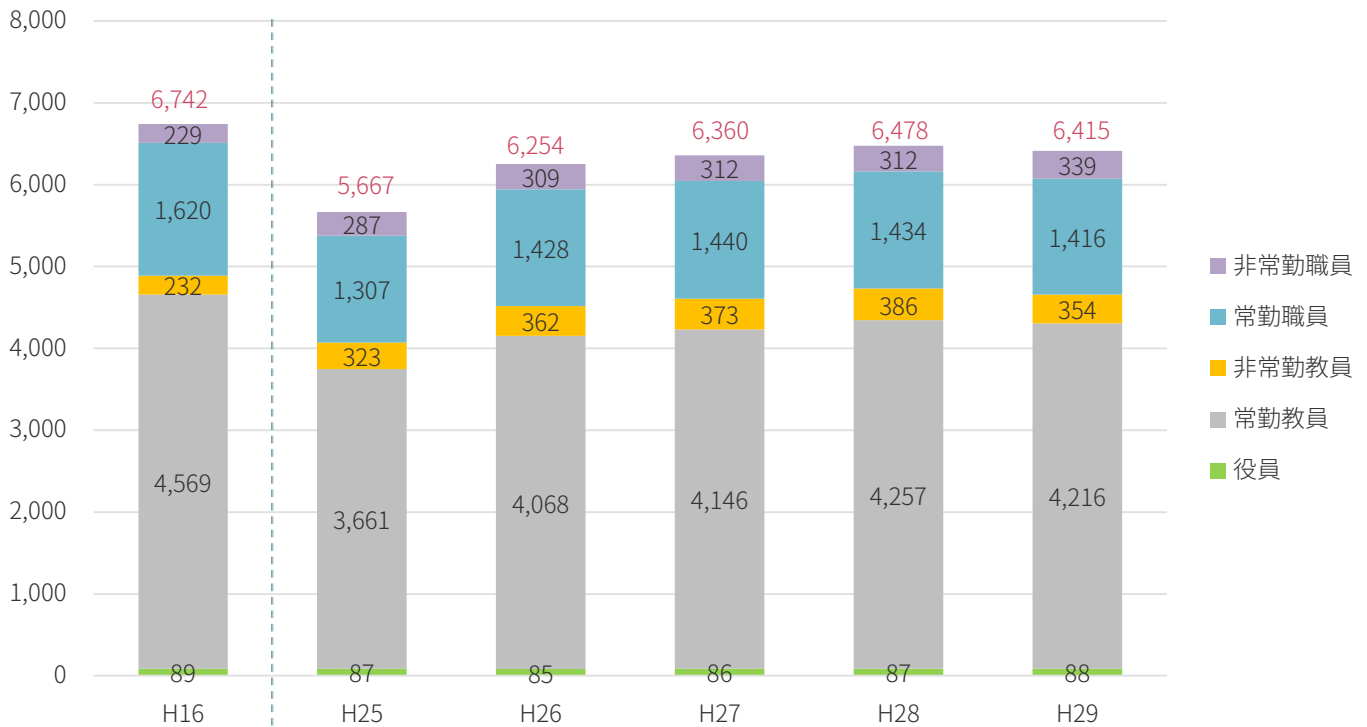
- ・人件費 ▲7%
- ・教育経費 +5.8%

○経常費用の推移



○人件費の推移

単位(百万円)



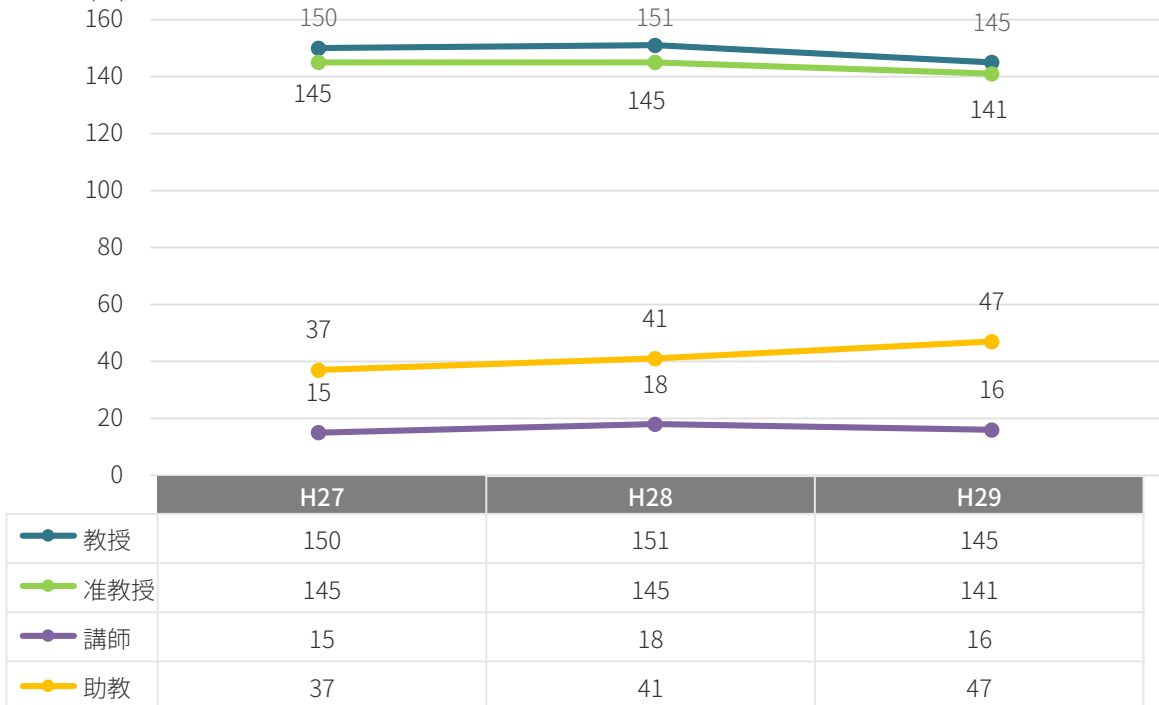
※退職給付費用は含んでおりません。

※H25年度は、『国家公務員の給与の改定及び臨時特例に関する法律』の趣旨を踏まえた給与減額支給措置の影響により、人件費が削減されています。

平成29年度常勤教員人件費は、教員数の減・若手ポストへの振替などにより減少しております
(下図参照)。

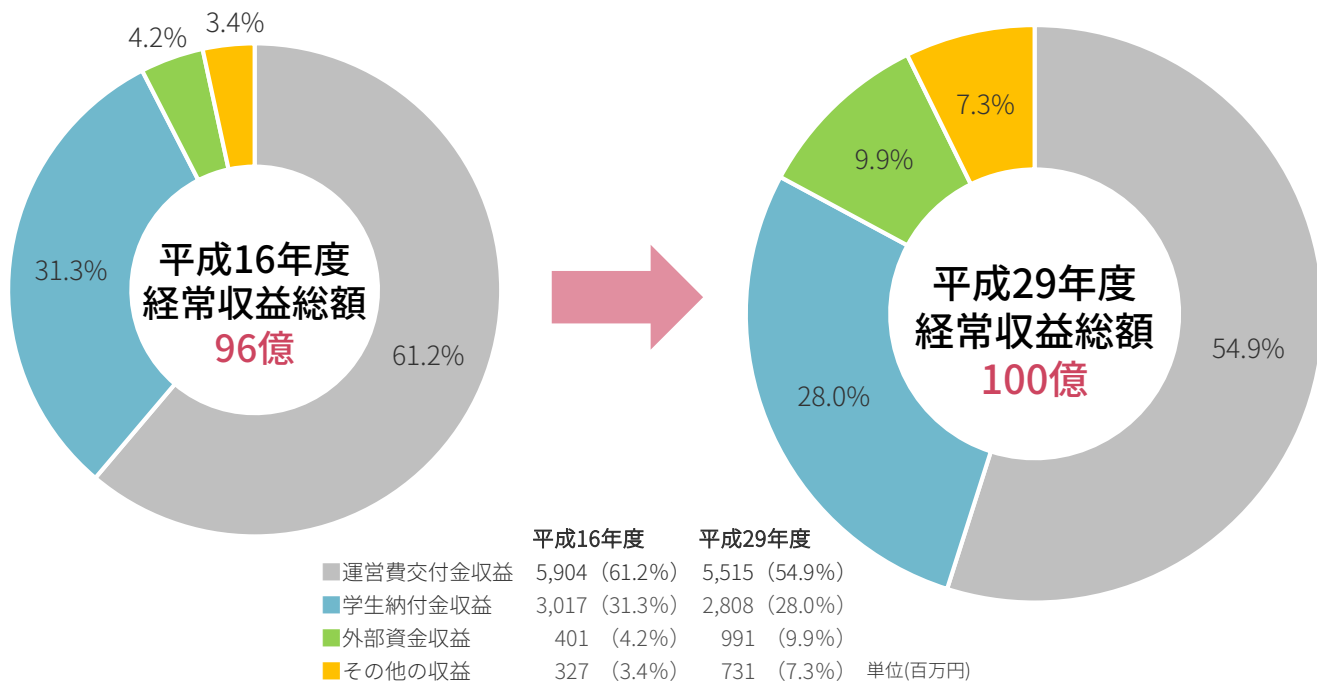
○教員の役職構成

単位(人)



※各年度3月31日現在の人数

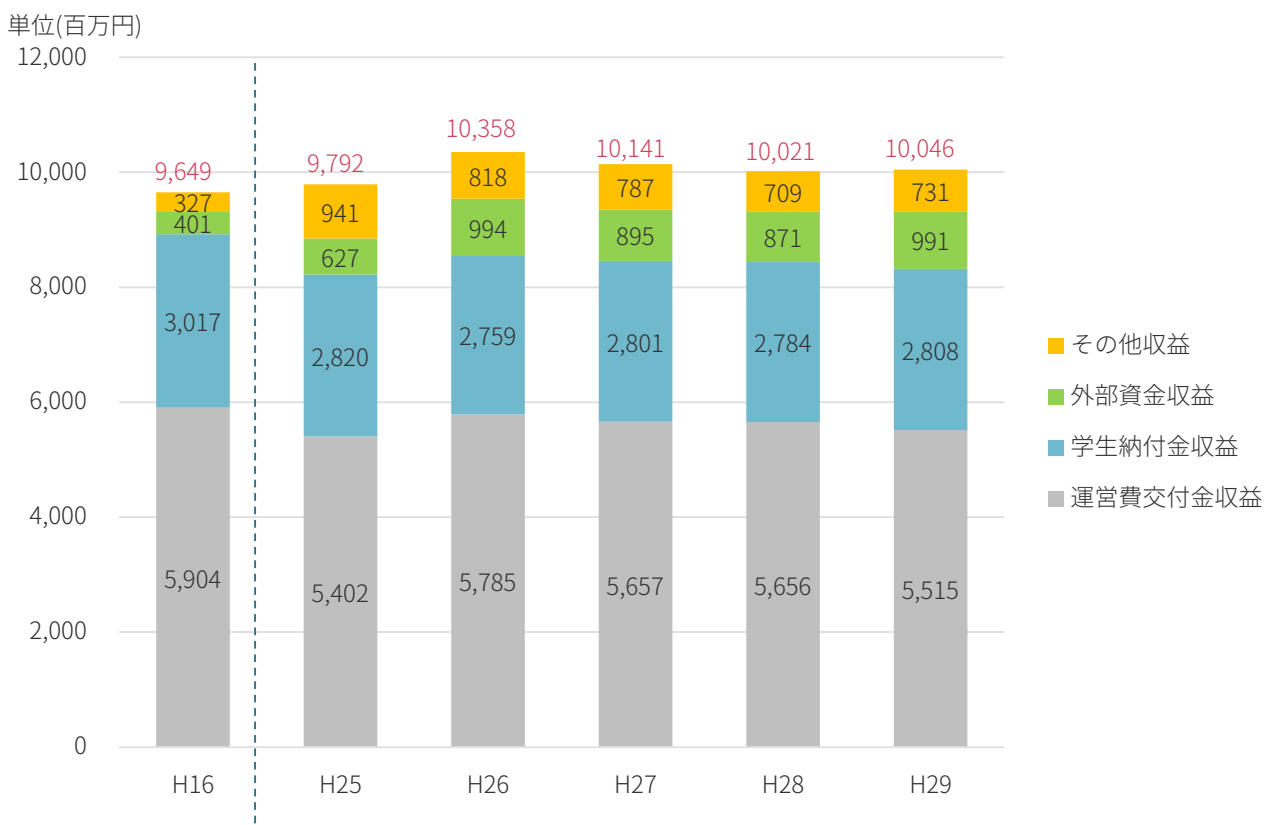
○経常収益の構成



平成16年度（国立大学法人化の初年度）と比べ、経常収益合計に占める運営費交付金収益，学生納付金収益のシェアが減少しています。その一方で，外部資金収益のシェアが増加しています。

- ・ 運営費交付金収益 ▲ 6.3%
- ・ 学生納付金収益 ▲ 3.3%
- ・ 外部資金収益 + 5.7%

○経常収益の推移

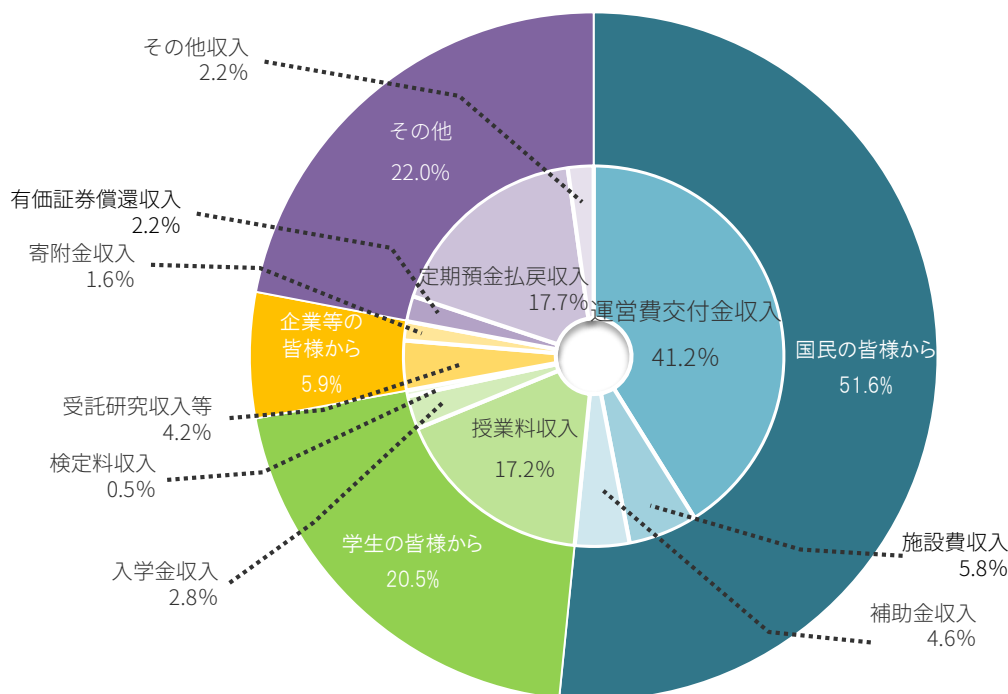


キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

| I. 業務活動による キャッシュ・フロー | H28年度 | H29年度 | 増減 | II. 投資活動による キャッシュ・フロー | H28年度 | H29年度 | 増減 |
|------------------------------|------------|------------|-------------|------------------------------|--------------|--------------|-------------|
| 原材料、商品又はサービスの支出 | ▲1,852 | ▲2,019 | ▲167 | 有価証券の取得による支出 | ▲3,390 | ▲400 | 2,989 |
| 人件費支出 | ▲6,938 | ▲7,040 | ▲101 | 有価証券の償還による収入 | 3,427 | 292 | ▲3,135 |
| その他の業務支出 | ▲377 | ▲370 | 7 | 固定資産の取得による支出 | ▲625 | ▲1,103 | ▲477 |
| 運営費交付金収入 | 5,657 | 5,577 | ▲80 | 固定資産の売却による収入 | 65 | - | ▲65 |
| 授業料収入 | 2,362 | 2,332 | ▲29 | 定期預金預入れによる支出 | ▲102 | ▲2,400 | ▲2,298 |
| 入学金収入 | 386 | 382 | ▲3 | 定期預金払戻による収入 | 190 | 2,402 | 2,212 |
| 検定料収入 | 67 | 68 | 0 | 施設費による収入 | 169 | 793 | 623 |
| 受託研究収入等 | 548 | 571 | 23 | 施設費の精算による返還金の支出 | ▲11 | - | 11 |
| 補助金等収入 | 381 | 628 | 246 | 大学改革支援・学位授与機構への納付による支出 | ▲32 | - | 32 |
| 補助金等の精算による返還金の支出 | ▲13 | ▲1 | 11 | 利息の受取額 | 0 | 0 | ▲0 |
| 寄附金収入 | 302 | 221 | ▲80 | 投資活動による キャッシュ・フロー | ▲308 | ▲415 | ▲107 |
| 預り金収入 | 134 | 159 | 24 | III. 財務活動による キャッシュ・フロー | H28年度 | H29年度 | 増減 |
| 預り金支出 | ▲126 | ▲151 | ▲25 | 長期借入金返済による支出 | ▲3 | ▲3 | - |
| その他収入 | 300 | 295 | ▲4 | その他支出 | ▲0 | ▲114 | ▲114 |
| 国庫納付金の支払額 | ▲3 | 0 | 3 | 財務活動による キャッシュ・フロー | ▲4 | ▲118 | ▲114 |
| 業務活動による キャッシュ・フロー | 831 | 654 | ▲177 | IV. 資金の増加額（又は減少額） | 517 | 119 | ▲398 |
| V. 資金期首残高 | | | | | 1,560 | 2,078 | 517 |
| VI. 資金期末残高 | | | | | 2,078 | 2,197 | 119 |

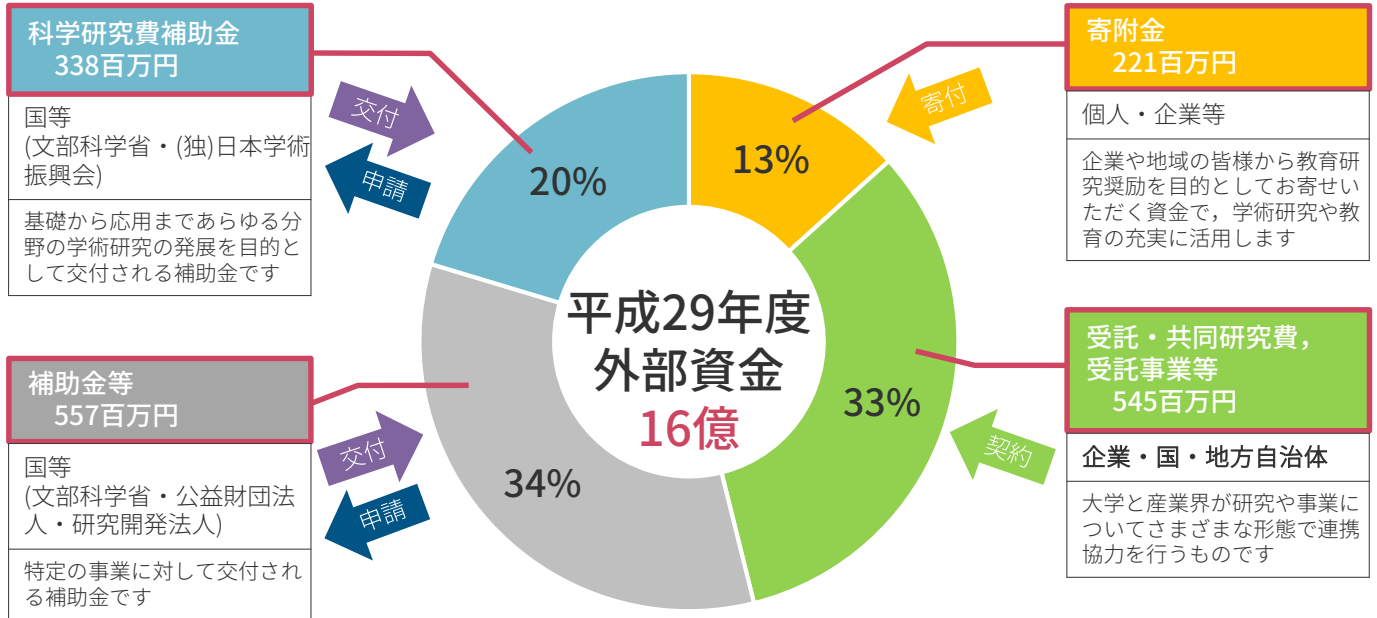
○キャッシュ・フロー計算書からみる収入構成



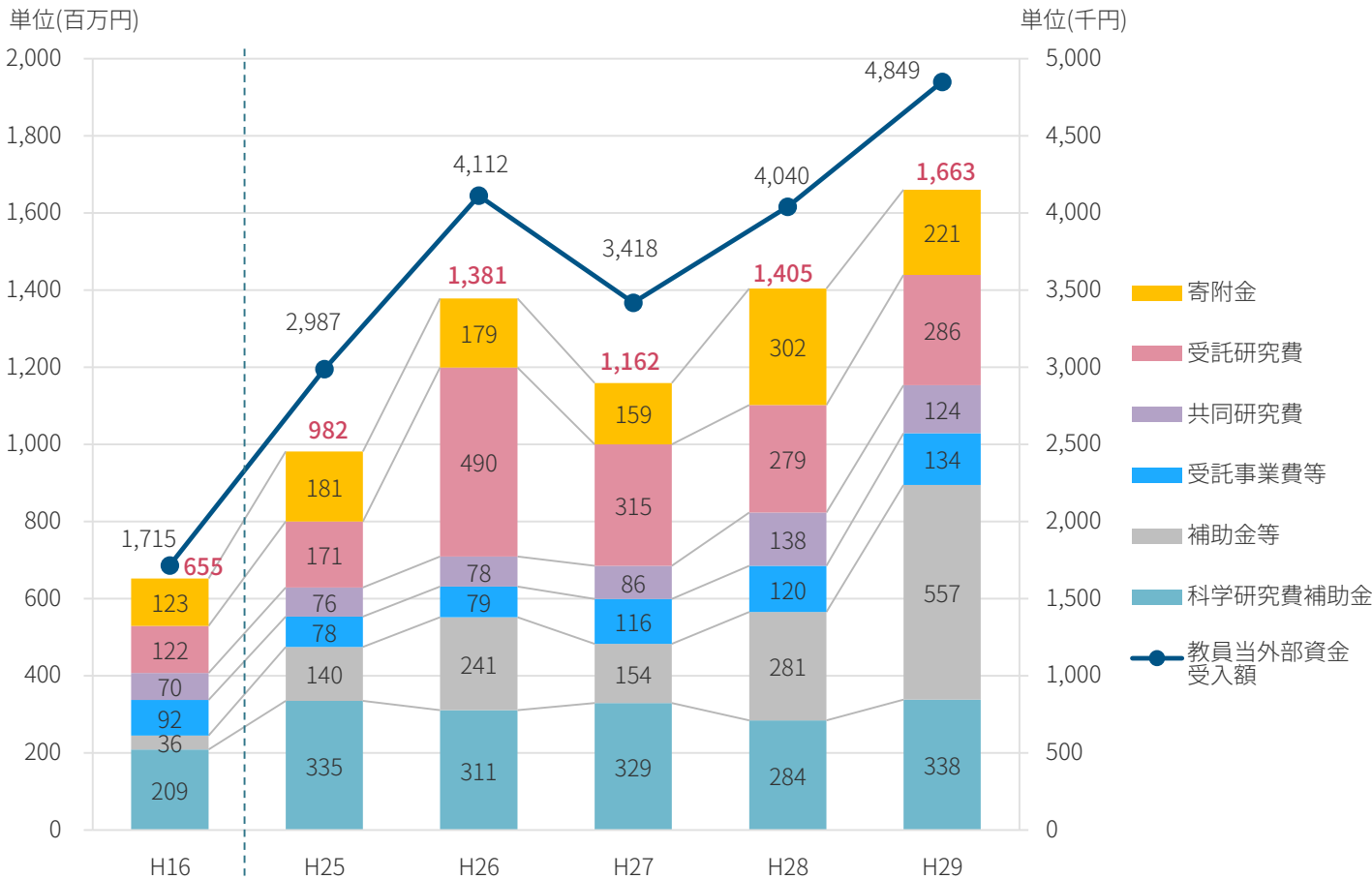
外部資金収入

法人化以降、我が国の極めて厳しい財政事情により、基盤的運営費である運営費交付金が年々抑制的になっている現状において、大学の教育や研究活動を充実させていく上で、外部からの資金獲得が不可欠であり、獲得に向けた積極的な取り組みが求められています。

外部資金等の受入れには、下記に示すように国からの競争的資金に相当する補助金、個人や企業の皆様の御厚意による寄附金、企業や自治体等と協力して研究や事業を行う受託・共同研究、受託事業等の様々な形態があります。



外部資金受入額の推移



※金額は財務諸表上の受入額になります。

間接経費等を含んでおります。

教員当外部資金受入額=受入総額/常勤教員数 (常勤教員人数は各年度5月1日現在の人数)

○財務面からみた宇都宮大学の課題 ～有形固定資産の老朽化～

ここまで見てきた本学の財務情報からは、施設や大型設備のような有形固定資産の老朽化（P10「有形固定資産の老朽化状況」参照）が大きな課題と考えられます。このページでは、施設設備の整備に係る取組等について紹介します。

○施設・設備の整備計画

本学の第3期中期計画では、施設・設備について、「キャンパスマスタープラン、設備マスタープランを戦略的に立案し、アクティブ・ラーニングや学生のコミュニケーション力を促進する学びの空間などの教育に関する施設設備を充実するための経費を確保・配分する」こととしており、施設はキャンパスマスタープランに、設備は設備マスタープランに基づき、それぞれ着実に更新等を行うとともに、効率的・効果的な利用を促進することとしています。

キャンパスマスタープラン

キャンパスマスタープランでは安全・安心な教育研究環境の基盤の確保として、学生や研究者等が安全・安心な環境において教育研究が出来るよう老朽施設の改善整備、老朽化している基幹設備（ライフライン）の計画的な更新を推進しており、これには最低でも**毎年度約4億円**の財源を必要としています。

設備マスタープラン

本学における設備の取得後の経過年数を見てみると、一般に設備の減価償却が6年程度とされている中で、取得から6年以上経過しているものは全体で61.7%にもものぼる状況となっています。これを背景に、第3期中期計画期間中の整備計画として、**約12億円（年平均約3億円）**の財源を必要としています。



峰町2号館D棟：
建物の老朽化が著しい

○財源ねん出のために — 経営努力と多様な財源の活用

本学では平成16年の国立大学法人化以降の13年間で運営費交付金が約7億円減少（▲11%、P21「運営費交付金交付額推移表」参照）しているように、国の財政支援の縮小を背景として施設整備の老朽化が進んでおります。本学では各般の財政需要に対応するため、経営努力による財源確保に取り組んでまいりました（主なものは次のとおり）。

人件費・一般管理費の抑制

経常費用でみると平成16年度に比べ管理的経費である人件費及び一般管理費が大幅に削減されています（P12「経常費用の構成」参照）。

今後も定年退職者の後任補充は原則助教とし若手ポストを採用することで削減を図っていきます。

| | 平成16年度 | | 平成29年度 | 増減 H29-H16 |
|-------|----------|---|----------|------------|
| 人件費 | 7,167百万円 | ➡ | 6,753百万円 | ▲414百万円 |
| 一般管理費 | 526百万円 | | 420百万円 | ▲106百万円 |

5.2億円削減

外部資金の増加

経常収益でみると平成16年度に比べ外部資金収益が590百万円増加しています（P14「経常収益の構成」参照）。

これは外部資金収入でみるとより顕著な増加となります（P16「外部資金収入」参照）。

平成29年度より3C基金を創設し、寄付による自己財源の確保・財務基盤の充実を図るなど、一層の努力をしていきます。

| | 平成16年度 | | 平成29年度 | 増減 H29-H16 |
|--------|--------|---|----------|------------|
| 外部資金収入 | 655百万円 | ➡ | 1,663百万円 | 1,008百万円 |

10億円増加

計画的に「キャンパスマスタープラン」「設備マスタープラン」に掲げる施設整備を整備し、老朽化を食い止めるには、その財源を安定的に確保することが必要となります。今後も経営努力を継続しながら、学内財源のみならず、民間からの寄附、長期借入金、地方公共団体との連携、行政庁からの補助金等、多様な財源での整備についてより積極的に検討してまいります。

○財務指標の比較

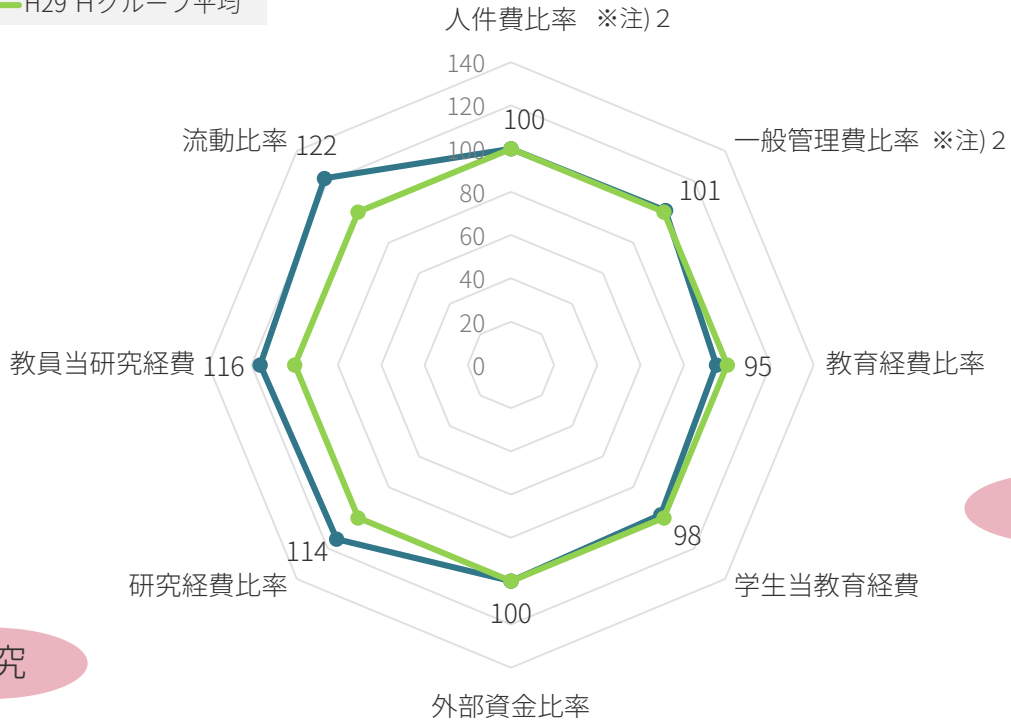
財務指標を算出し、他大学と比較することで、本学の置かれた位置を把握することができます。本学では、主な財務指標について本学及びHグループの平均と比較して、経営判断に役立てています。

グループ区分

- Aグループ：学生収容定員1万人以上、学部等数概ね10学部以上の国立大学法人
- Bグループ：医科系学部を有さず、学生収容定員に占める理工系学生数が文科系学生数の概ね2倍を上回る国立大学法人
- Cグループ：医科系学部を有さず、学生収容定員に占める文科系学生数が理工系学生数の概ね2倍を上回る国立大学法人
- Dグループ：医科系学部のみで構成される国立大学法人
- Eグループ：教育系学部のみで構成される国立大学法人
- Fグループ：大学院のみで構成される国立大学法人
- Gグループ：医科系学部その他の学部で構成され、A～Fのいずれにも属さない国立大学法人
- Hグループ：医科系学部を有さず、A～Fのいずれにも属さない国立大学法人(宇都宮大学が属するグループ)
岩手大学、茨城大学、埼玉大学、お茶の水女子大学、横浜国立大学、静岡大学、奈良女子大学、和歌山大学

● H29'宇都宮大学
● H29'Hグループ平均

運営



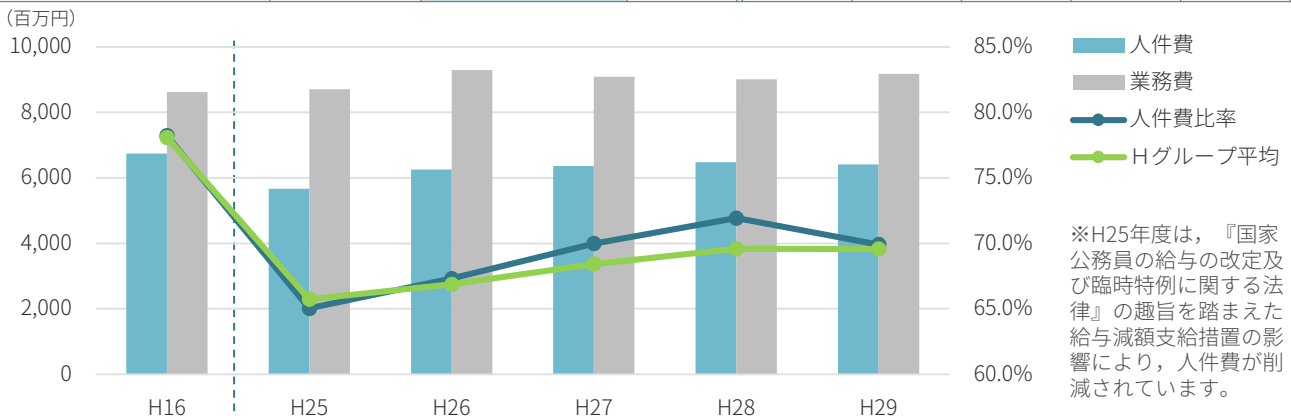
教育

研究

- 注) 1. 本グラフは、Hグループの平均を『100』として表示しています。
 2. 指標が低い方が望ましいもの(人件費比率、一般管理費比率)につきましては、指標数値割合の逆数を用いているので、グラフ上では外側に表示されるほど比率が低い状況を表していることになります。人件費比率には退職給付費用は含んでおりません。

| 内容 | 計算式 | 項目 | H16年度 | H25年度 | H26年度 | H27年度 | H28年度 | H29年度 |
|--|-----------|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 業務費に占める人件費の割合を示す指標であり、比率が低いほど効率性が高いとされています。 ※退職給付費用は含んでおりません。 | 人件費 / 業務費 | 人件費(百万円) | 6,742 | 5,667 | 6,254 | 6,360 | 6,478 | 6,415 |
| | | 業務費(百万円) | 8,619 | 8,712 | 9,292 | 9,088 | 9,006 | 9,175 |
| | | 人件費比率 | 78.2% | 65.0% | 67.3% | 70.0% | 71.9% | 69.9% |
| | | Hグループ平均比率 | 78.1% | 65.7% | 66.9% | 68.4% | 69.6% | 69.6% |

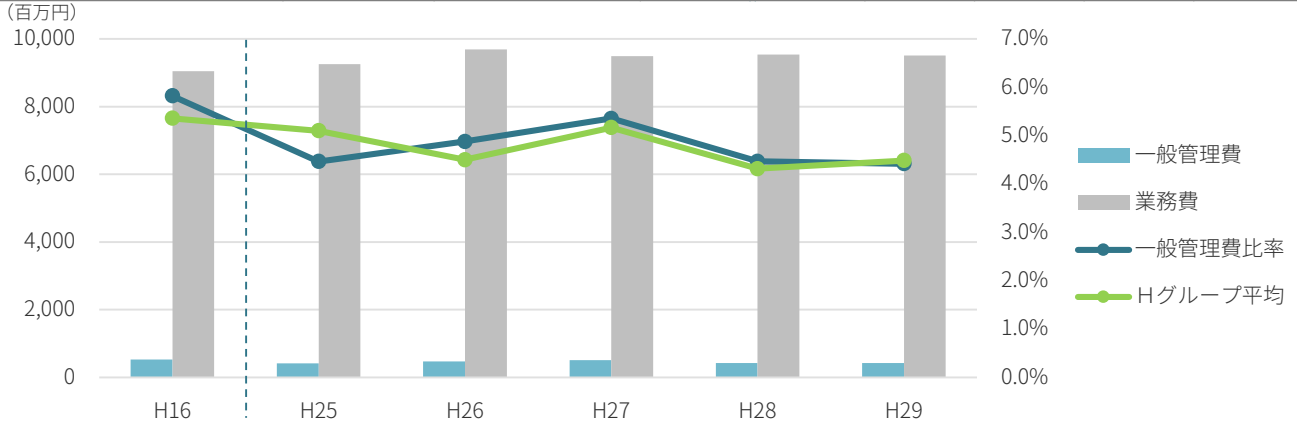
人件費比率



※H25年度は、『国家公務員の給与の改定及び臨時特例に関する法律』の趣旨を踏まえた給与減額支給措置の影響により、人件費が削減されています。

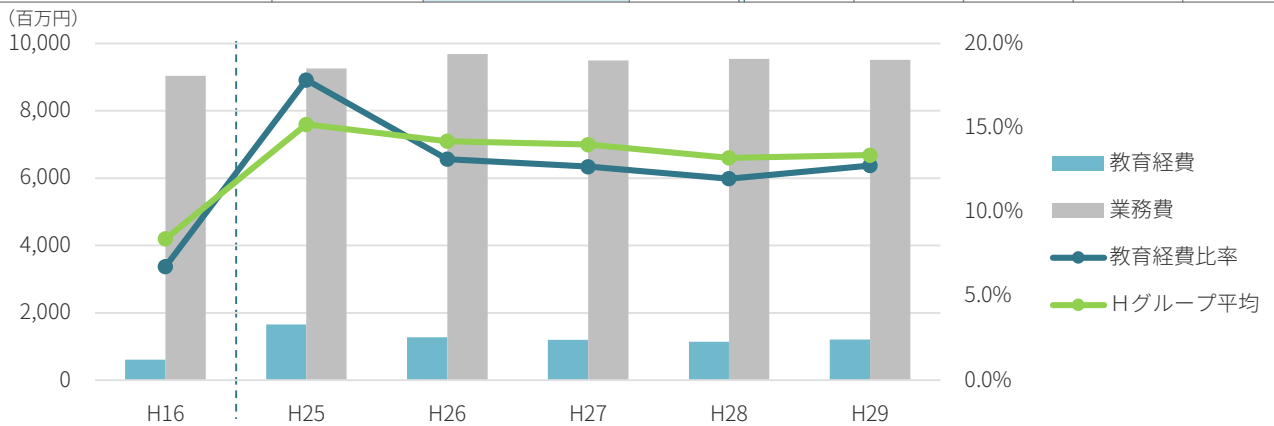
一般管理費比率

| 内容 | 計算式 | 項目 | H16年度 | H25年度 | H26年度 | H27年度 | H28年度 | H29年度 |
|--|-----------------------------------|------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 業務費に対する一般管理費の比率。管理運営を行う際の効率性等を判断する一指標で、比率は低い方が良いとされています。 | $\frac{\text{一般管理費}}{\text{業務費}}$ | 一般管理費(百万円) | 526 | 413 | 472 | 508 | 426 | 420 |
| | | 業務費(百万円) | 9,044 | 9,259 | 9,685 | 9,492 | 9,543 | 9,513 |
| | | 一般管理費比率 | 5.8% | 4.5% | 4.9% | 5.4% | 4.5% | 4.4% |
| | | Hグループ平均比率 | 5.4% | 5.1% | 4.5% | 5.2% | 4.3% | 4.5% |



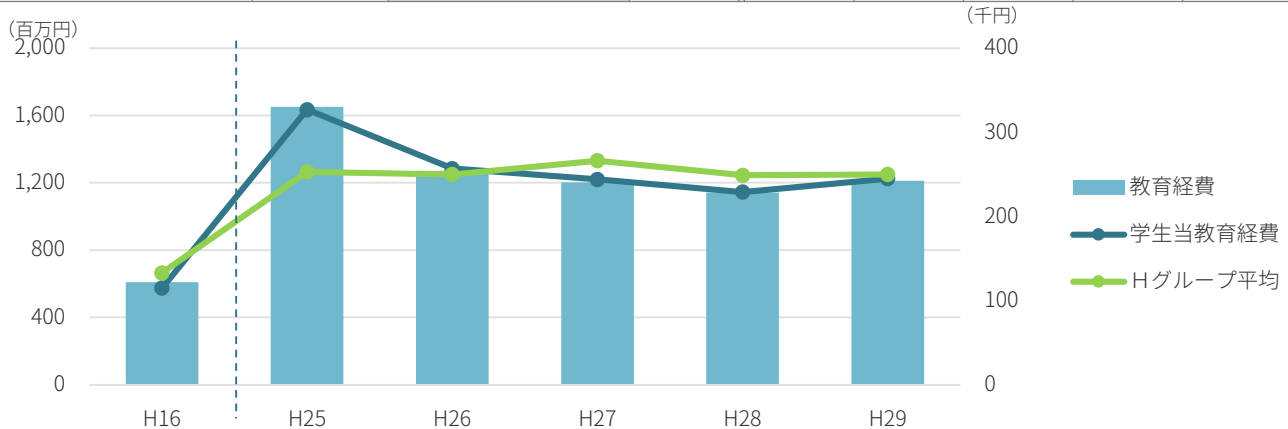
教育経費比率

| 内容 | 計算式 | 項目 | H16年度 | H25年度 | H26年度 | H27年度 | H28年度 | H29年度 |
|---|----------------------------------|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 業務費に対する教育経費の比率。教育の比重による活動性を判断する一指標で、比率は高い方が良いとされています。 | $\frac{\text{教育経費}}{\text{業務費}}$ | 教育経費(百万円) | 610 | 1,651 | 1,271 | 1,203 | 1,142 | 1,212 |
| | | 業務費(百万円) | 9,044 | 9,259 | 9,685 | 9,492 | 9,543 | 9,513 |
| | | 教育経費比率 | 6.8% | 17.8% | 13.1% | 12.7% | 12.0% | 12.8% |
| | | Hグループ平均比率 | 8.4% | 15.2% | 14.2% | 14.0% | 13.2% | 13.4% |



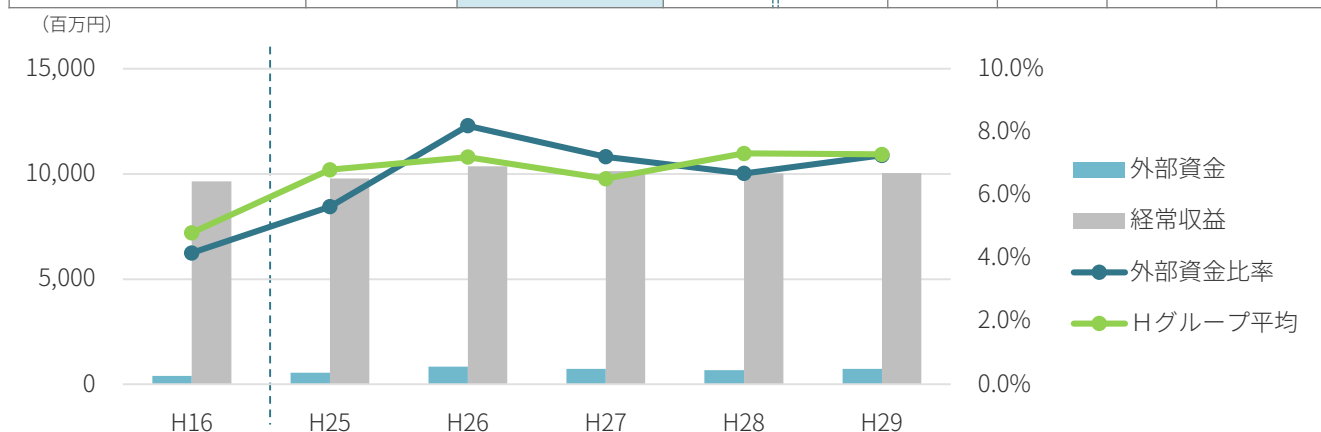
学生当教育経費

| 内容 | 計算式 | 項目 | H16年度 | H25年度 | H26年度 | H27年度 | H28年度 | H29年度 |
|---|----------------------------------|---------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 学生一人当たりの教育経費を示す指標であり、この数値が高いほど学生一人当たりにかげられた教育経費が大きいことを示します。 | $\frac{\text{教育経費}}{\text{学生数}}$ | 教育経費(百万円) | 610 | 1,651 | 1,271 | 1,203 | 1,142 | 1,212 |
| | | 学生数(人) | 5,325 | 5,040 | 4,939 | 4,928 | 4,988 | 4,959 |
| | | 学生当教育経費(千円) | 115 | 327 | 257 | 244 | 229 | 245 |
| | | Hグループ平均金額(千円) | 133 | 253 | 250 | 266 | 249 | 250 |



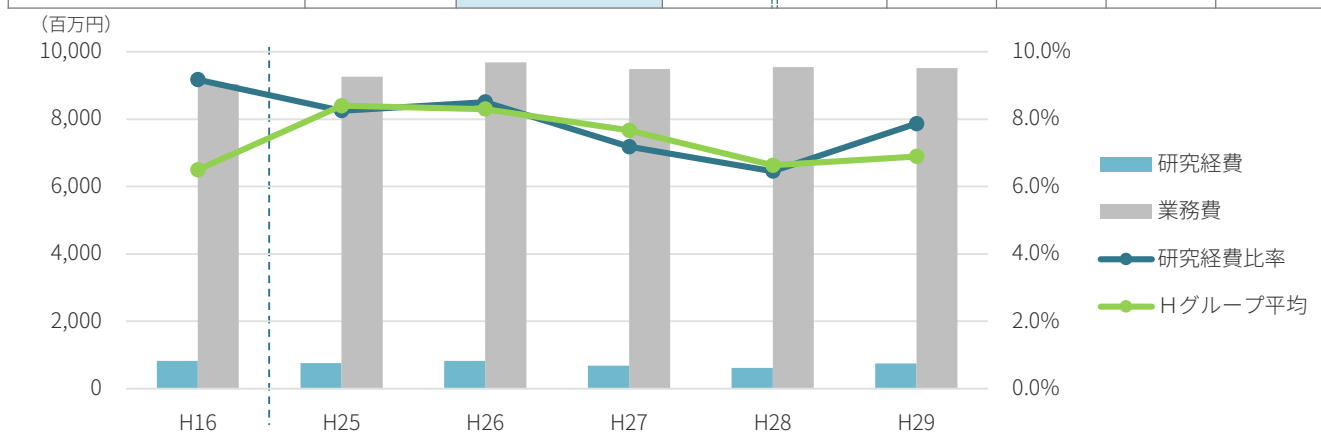
外部資金比率

| 内容 | 計算式 | 項目 | H16年度 | H25年度 | H26年度 | H27年度 | H28年度 | H29年度 |
|---|---|-----------|-------|-------|--------|--------|--------|--------|
| 経常収益に占める外部資金の割合を示す指標であり、比率が高いほど外部資金の受入が拡大していることとなります。 | $\frac{\text{外部資金} + \text{共同研究収益} + \text{受託事業等収益} + \text{寄附金収益}}{\text{経常収益}}$ | 外部資金(百万円) | 401 | 551 | 848 | 731 | 669 | 729 |
| | | 経常収益(百万円) | 9,649 | 9,792 | 10,358 | 10,141 | 10,021 | 10,046 |
| | | 外部資金比率 | 4.2% | 5.6% | 8.2% | 7.2% | 6.7% | 7.3% |
| | | Hグループ平均比率 | 4.8% | 6.8% | 7.2% | 6.5% | 7.3% | 7.3% |



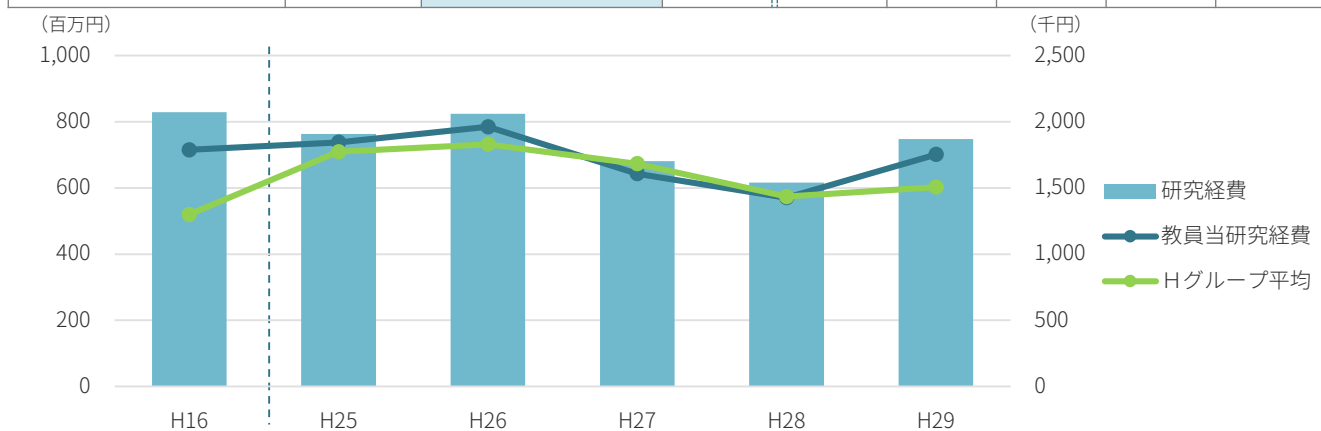
研究経費比率

| 内容 | 計算式 | 項目 | H16年度 | H25年度 | H26年度 | H27年度 | H28年度 | H29年度 |
|---|----------------------------------|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 業務費に対する研究経費の比率。研究の比重による活動性を判断する一指標で、比率が高い方が良いとされています。 | $\frac{\text{研究経費}}{\text{業務費}}$ | 研究経費(百万円) | 829 | 763 | 824 | 681 | 616 | 748 |
| | | 業務費(百万円) | 9,044 | 9,259 | 9,685 | 9,492 | 9,543 | 9,513 |
| | | 研究経費比率 | 9.2% | 8.3% | 8.5% | 7.2% | 6.5% | 7.9% |
| | | Hグループ平均比率 | 6.5% | 8.4% | 8.3% | 7.7% | 6.6% | 6.9% |



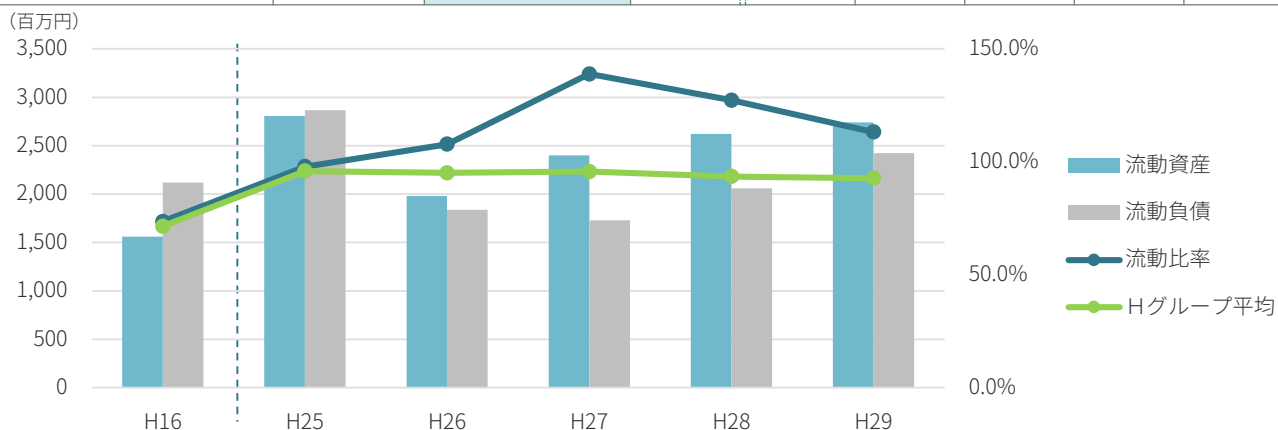
教員当研究経費

| 内容 | 計算式 | 項目 | H16年度 | H25年度 | H26年度 | H27年度 | H28年度 | H29年度 |
|--|------------------------------------|---------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 教員一人当たりの研究経費を示す指標であり、この数値が高いほど教員一人当たりが使用した研究経費が大きいことを示します。 | $\frac{\text{研究経費}}{\text{常勤教員数}}$ | 研究経費(百万円) | 829 | 763 | 824 | 681 | 616 | 748 |
| | | 教員数(人) | 464 | 414 | 420 | 424 | 432 | 427 |
| | | 教員当研究経費(千円) | 1,788 | 1,845 | 1,962 | 1,608 | 1,426 | 1,753 |
| | | Hグループ平均金額(千円) | 1,299 | 1,774 | 1,831 | 1,682 | 1,435 | 1,506 |

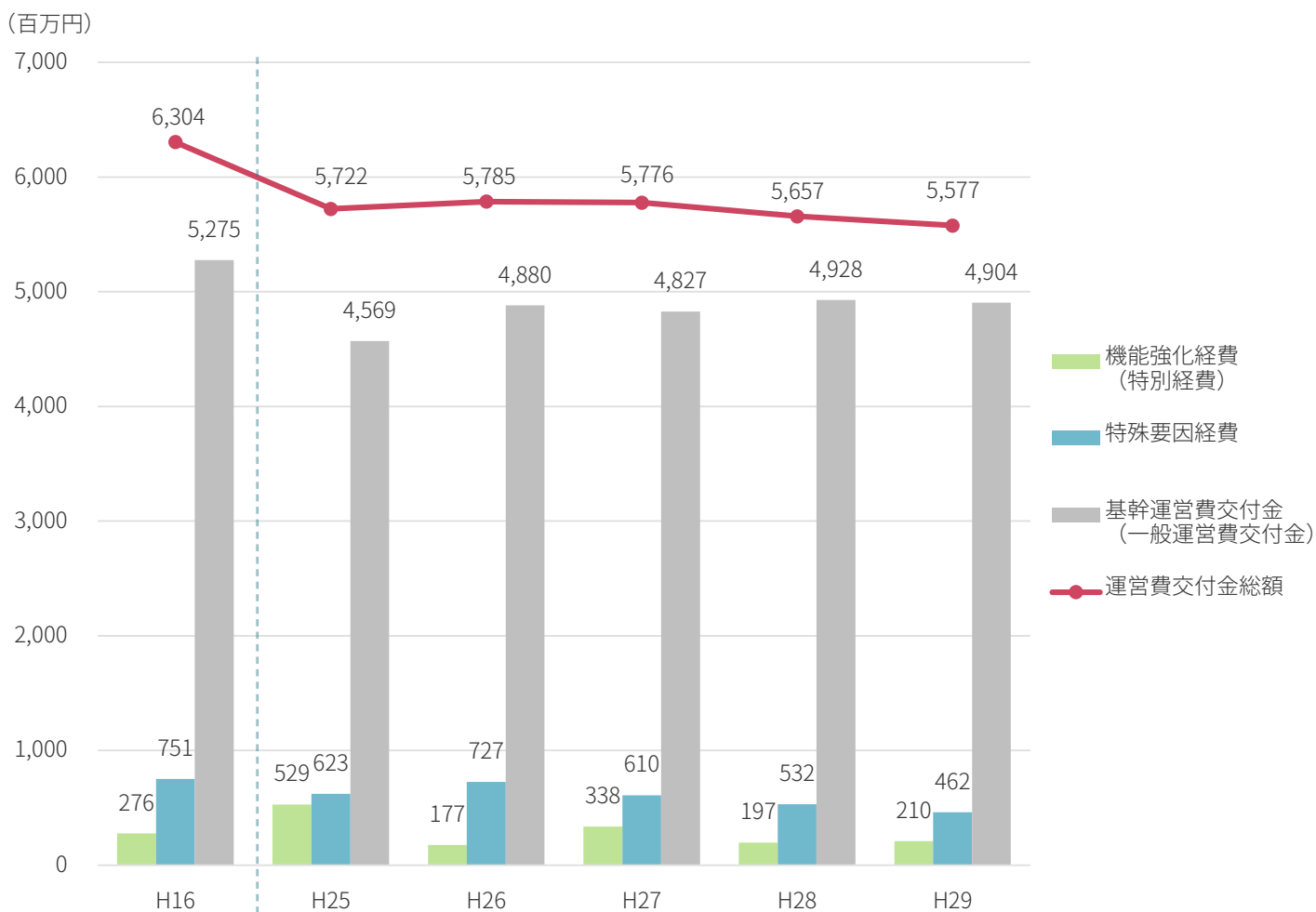


| 内容 | 計算式 | 項目 | H16年度 | H25年度 | H26年度 | H27年度 | H28年度 | H29年度 |
|--|-----------------------------------|-----------|-------|-------|--------|--------|--------|--------|
| 一年以内に償還又は支払うべき債務(流動負債)に対し、同じく一年以内に現金化が可能な流動資産(支払力)が確保されているかを示します。短期の安全性を判断する一指標で、比率は高い方が良いとされています。 | $\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$ | 流動資産(百万円) | 1,560 | 2,807 | 1,982 | 2,399 | 2,623 | 2,741 |
| | | 流動負債(百万円) | 2,120 | 2,867 | 1,839 | 1,728 | 2,061 | 2,422 |
| | | 流動比率 | 73.6% | 97.9% | 107.8% | 138.9% | 127.3% | 113.1% |
| | | Hグループ平均比率 | 71.5% | 95.9% | 95.1% | 95.7% | 93.5% | 92.8% |

流動比率



○運営費交付金交付額推移表



※H25年度は、『国家公務員の給与の改定及び臨時特例に関する法律』の趣旨を踏まえた給与減額支給措置の影響により、一般運営費交付金が減額されています。

宇都宮大学3C基金による新たな学生支援事業

平成29年度に創設された宇都宮大学3C基金による新たな学生支援事業が開始されました。

<飯村チャレンジ奨学金>

チャレンジ精神と夢にあふれる学生が学業に専念できるよう経済的支援をすることを目的とした奨学金です。本人の社会貢献活動や意欲等を総合的に判断して採用を決定します。

- ◆給付額 月額3万円（年間36万円）
- ◆採用予定者数 12人

○平成29年度の給付実績

学生12名に対し、月額3万円/（年間36万円），総額4,320千円の給付を行いました。

<入学応援奨学金（予約型奨学金）>

宇都宮大学への入学を希望しながら、経済的理由により進学を断念せざるを得ない栃木県内の高校生に対して、入学時に必要となる学資の一部を奨学金として給付するものです。入試出願前に学校を通じて奨学金を申請していただき、本学への入学意欲や家計の状況等を総合的に審査し、入学後に支給する予約型奨学金です。

- ◆給付額 30万円（一時金）
- ◆採用予定者数 20人程度

○平成30年度入学者の給付実績

学生10名に対し、一名あたり30万円，総額3,000千円の給付を行いました。

<大学院生研究奨励金>

文系学生を対象に大学院生が研究に主体的、意欲的に取り組むため、学会等における研究成果の発表又は学内外における資料収集、各種調査のための経費を支援します。

- ◆給付額 5～10万円
- ◆採用予定者数 15人程度

○平成29年度の給付実績

学生19名に対し、総額977千円の給付を行いました。

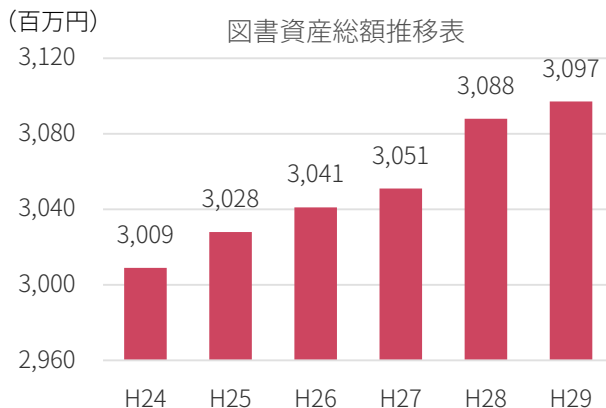
上記のほかに、以下のような奨学金もございます。

- ・増山奨学金：海外留学支援
- ・斎藤裕奨学金：3C人材育成のための支援（先進的な理工系の研究開発に意欲がある学生に対する支援）

図書の整備状況

本学における図書の資産総額は、右表のとおりです。

平成29年度における、学生1人当たりの図書資産額は、624千円となっており、前年度と比べて5千円（対前年度比1.2%）増加しました。



学生1人当たり図書資産額 624千円

図書資産額3,097百万円/学生数4,959人

同窓会

卒業(修了)生, 研究者等により組織された各学部等同窓会の活動や現況等をお知らせするため, ホームページを設けています。

同ホームページでは, 卒業生相互の交流や本学与卒業生との連携がより深まることが期待されます。



☞同窓会ホームページ

<http://www.utsunomiya-u.ac.jp/usermenu/graduate.php>



ホームカミングデー

卒業生等との連携・親睦を深める機会として, 峰ヶ丘祭(大学祭)期間中の平成28年11月19日に第4回ホームカミングデーを開催しました。母校の現状をご紹介させていただくとともに, それぞれの方々が学生時代に思いを馳せ, 旧交を温めるなど, 存分に満喫していただけたのではないかと考えています。

※第5回ホームカミングデーは, 本学創立70周年である平成31年度秋に開催予定です。



国際学部ホームカミングデー集合写真

☞ホームカミングデーホームページ

<http://www.utsunomiya-u.ac.jp/graduate/homecomingday.php>



社会人の学び直し(リカレント教育)の拡充

従来から, 本学の授業科目を1科目から受講いただける「科目等履修生」制度や公開講座により, 一般の方々に向けた, 学び直し・生涯学習の機会提供を行っておりますが, 平成29年度より, 地域のニューリーダー育成を目的とした『宇大未来塾』『とちぎ志士プログラム』を立ち上げ, また, 社会人の学び直しを支援する「UUカレッジ」(平成30年10月より)が開講し, 新たな取組を進めております。

☞宇大未来塾ホームページ

<http://sozo.tochigi-ysn.net/event/u-mirai2017/>

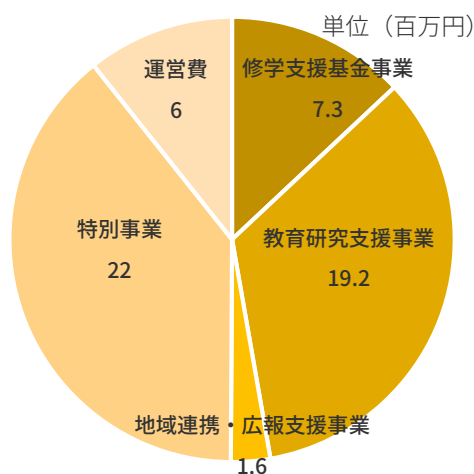


宇都宮大学3C基金

平成20年に宇都宮大学基金が創設されてからこれまで, 同窓生や地域の皆様, 地元企業の皆様など多くの方からご寄附をいただきました。同基金は, 平成29年度より発展的に拡大し, 「宇都宮大学3C基金」に模様替えしました。

3C基金は奨学金等による学生支援のほか, 地域貢献活動支援, キャンパス環境整備にも活用する予定です。皆様のご協力とご支援を心よりお願い申し上げます。

平成29年度の主な支出額



産学官連携事業について

本学では、創造的な研究を展開するとともに、優れた人材を養成し、社会の発展に貢献しています。また、大学に蓄積された多くの研究成果や知的資源を活用して、地域・産業・社会との協力を積極的に進めるとともに、本学地域共生研究開発センターが窓口となり、企業等からの技術開発等の要請に対して「ワンストップソリューション」を目指し、教職員およびコーディネーターが、大学内の教員とのマッチングを図っています。

平成29事業年度における外部資金比率は、前年度より0.6%増加し7.3%となっています。また、外部資金受入額についても、257,503千円(対前年度18.3%)増加しており、国からの支援が減少していく中で、こうした外部資金獲得への取り組みが、ますます重要になっています。

外部資金比率 7.3%

(受託研究収益+共同研究収益+受託事業等収益+寄附金収益) / 経常収益

外部資金受入額

単位:千円

| 区分 | H28 | H29 | 増▲減額 | 増▲減率 |
|--------------------------|-----------|-----------|---------|--------|
| 受託研究費 | 279,043 | 286,067 | 7,024 | 2.5% |
| 国の機関 | 119,582 | 92,409 | ▲27,173 | ▲22.7% |
| 地方公共団体 | 10,850 | 6,750 | ▲4,100 | ▲37.8% |
| その他の機関 | 148,609 | 186,907 | 38,297 | 25.8% |
| 共同研究費 | 138,115 | 124,967 | ▲13,147 | ▲9.5% |
| 国の機関 | - | - | - | - |
| 地方公共団体 | 9,514 | 4,336 | ▲5,177 | ▲54.4% |
| その他の機関 | 128,600 | 120,630 | ▲7,970 | ▲6.2% |
| 受託事業費 | 120,379 | 134,629 | 14,250 | 11.8% |
| 国の機関 | 1,788 | 1,715 | ▲73 | ▲4.1% |
| 地方公共団体 | 7,415 | 7,604 | 188 | 2.5% |
| その他の機関 | 111,174 | 125,309 | 14,134 | 12.7% |
| 寄附金 | 302,767 | 221,841 | ▲80,926 | ▲26.7% |
| 奨学寄附金 | 181,741 | 110,769 | ▲70,972 | ▲39.1% |
| 峰が丘ファン [®] 利息収入 | 1,034 | 109 | ▲924 | ▲89.4% |
| 3C基金 | 119,992 | 110,962 | ▲9,029 | ▲7.5% |
| 補助金 | 281,060 | 557,528 | 276,467 | 98.4% |
| 科学研究費補助金 | 284,452 | 338,286 | 53,834 | 18.9% |
| 計 | 1,405,817 | 1,663,320 | 257,503 | 18.3% |

○宇都宮大学企業交流会

本学の取り組みの一つとして、定期的に企業交流会を実施し、大学の研究内容を地域企業の皆様に広く知っていただき、共同研究や産学官連携活動のきっかけになるような取り組みを行っています。



宇都宮大学企業交流会の会場風景

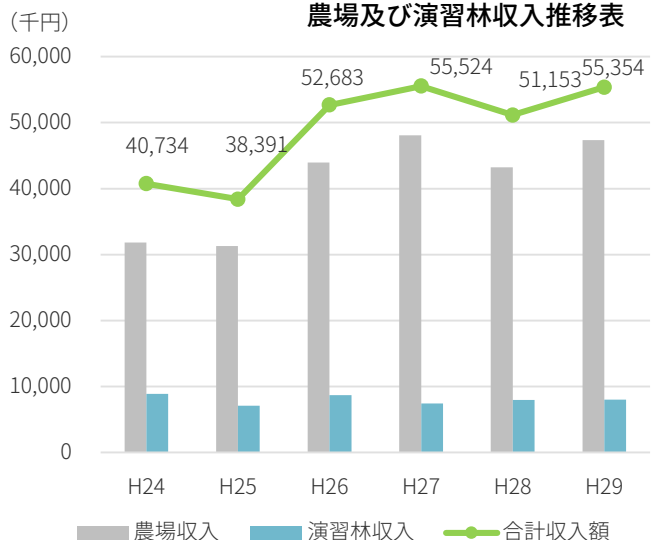
農場及び演習林収入

本学農学部附属農場が開発した米のオリジナル品種「ゆうだい21」の市場における普及のため、大手コンビニエンスストア（株式会社ローソン）と米穀卸最大手の会社（株式会社神明ホールディング）との間で連携協定を締結し、種もみの生産拡大を進めたことなどにより、近年は農場収入額の増加が顕著に現れています。

☞本学の生産品の販売については、P25『宇〜太による農場生産物のご紹介』にて詳しく紹介しております。



ゆうだい21



宇～太による農場生産物のご紹介



附属農場で収穫したばかりの新鮮な野菜や果物、花などの販売を行っているよ。地域のみならずにもお楽しみいただけます。



4月～12月の毎週月・金曜日は峰キャンパスUUプラザ玄関前、水曜日は陽東キャンパス10号館正面玄関前にて各日12時30分より農場生産物の販売を行っております。

農場生産物販売情報ホームページ

<http://agri.mine.utsunomiya-u.ac.jp/hpj/deptj/farm/hanbai/hanbai.html>



ローソン「まちかど厨房」のお弁当にも採用されている美味しいお米、ゆうだい21の精米が、生協、ミニストップなどで購入できるよ。



販売店：峰キャンパス大学生協、ミニストップ宇都宮大学店

また、ゆうだい21は、毎年10月頃に種籾の販売も行っておりますので、栽培に興味のある農家の方はこちらをご利用ください。

附属農場ホームページ

<http://agri.mine.utsunomiya-u.ac.jp/hpj/deptj/farm/index.html>



農場でつくられた原料を使用したいろいろな商品が生協、ミニストップなどで購入できるよ。どれも入荷したらすぐに売り切れてしまう人気商品だよ！



農場産原料を使用したミルクソース、チーズ、乾麺うどん「宇どん」、焼酎「宇大浪漫」がラインナップされ、上記ゆうだい21と同様の販売店などで販売されています。

商品紹介ページ

<http://www.utsunomiya-u.ac.jp/logomark/goods.php>



宇都宮大学施設貸付のご案内

宇都宮大学では、大学が管理する様々な施設の貸付事業を行っており、このページではその概要をご案内いたします。料金などの詳細な情報については各お問い合わせ先に照会の上、ご利用ください。

※QRコードはそれぞれの案内ページのURLです。

教室・体育施設



様々な仕様の教室は、地域の集まりの場、試験会場などにご利用いただいております。

野球場、陸上競技場、テニスコート、体育館などからなる体育施設は地域のクラブ活動の場としてご利用いただいております。

お問い合わせ先：財務部財務課管理係

TEL：028-649-5037

E-mail：uurent@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp



UUプラザ



1階のインフォメーションフロア、2階コミュニティフロアからなるUUプラザは、大学と地域とを結ぶ架け橋として設置されました。

2階コミュニティフロアは、全体をご利用の場合に限り、事前のお申し込みが必要となりますが、それ以外は自由にご利用いただけます。憩いや懇談の空間としてご利用ください。

お問い合わせ先：企画広報部企画広報課

TEL：028-649-8637

E-mail：kkikaku@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp



峰ヶ丘講堂



峰ヶ丘講堂は、大正13年（1924）に本学の前身の宇都宮高等農林学校の講堂として建てられた歴史ある建物です。平成21年3月に改修され、一般の方にも利用いただけるようになりました。

音楽イベント、講演会など、様々な用途でご利用いただいております。

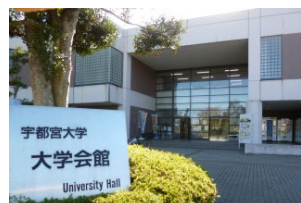
お問い合わせ先：企画広報部企画広報課

TEL：028-649-8637

E-mail：kkikaku@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp



大学会館



大学会館は、280名収容の多目的ホールをはじめ、和室、研修室などを配置しており、大規模な講演会、和室を利用した文化交流、研修など、様々な用途にご利用いただいております。

1階の食堂及び売店もお気軽にご利用ください。

お問い合わせ先：大学会館事務室

TEL：028-649-5116



■貸借対照表

資産の部

(単位：千円)

| 科 目 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 増減 H29-H28 |
|-----------|------------|------------|------------|------------|
| 固定資産 | 78,257,638 | 77,789,929 | 78,261,062 | 471,132 |
| 土地 | 61,449,231 | 61,372,263 | 61,372,263 | - |
| 建物及び附属設備 | 19,448,312 | 19,550,898 | 20,605,909 | 1,055,010 |
| 減価償却累計額 | △7,582,848 | △8,260,474 | △8,921,811 | △661,336 |
| 減損損失累計額 | - | - | △9,799 | △9,799 |
| 構築物 | 1,779,703 | 1,819,094 | 2,011,489 | 192,394 |
| 減価償却累計額 | △1,084,243 | △1,136,455 | △1,194,580 | △58,125 |
| 工具器具備品 | 4,775,270 | 4,934,679 | 5,327,595 | 392,916 |
| 減価償却累計額 | △3,854,617 | △4,145,089 | △4,452,564 | △307,474 |
| 図書 | 3,051,788 | 3,088,451 | 3,097,676 | 9,224 |
| 美術品・収蔵品 | 65,730 | 65,730 | 100,484 | 34,754 |
| 航空機 | 1,200 | 1,200 | 1,200 | - |
| 減価償却累計額 | △1,199 | △1,199 | △1,199 | - |
| 車両運搬具 | 129,134 | 132,820 | 149,804 | 16,983 |
| 減価償却累計額 | △93,285 | △106,015 | △116,165 | △10,150 |
| 建設仮勘定 | 39,609 | 224,660 | - | △224,660 |
| 特許権 | 45,213 | 41,510 | 36,471 | △5,038 |
| 商標権 | 0 | 0 | 0 | - |
| 育成者権 | 0 | 0 | 0 | - |
| ソフトウェア | 33,758 | 48,495 | 56,617 | 8,122 |
| 電話加入権 | 1,026 | 1,026 | 1,026 | - |
| 特許権仮勘定 | 35,456 | 41,902 | 30,674 | △11,227 |
| 投資有価証券 | 17,978 | 115,992 | 165,481 | 49,488 |
| リサイクル預託金 | 420 | 437 | 489 | 51 |
| 流動資産 | 2,399,761 | 2,623,724 | 2,741,309 | 117,584 |
| 現金及び預金 | 1,760,067 | 2,190,033 | 2,307,310 | 117,277 |
| 未収学生納付金収入 | 16,200 | 10,152 | 6,345 | △3,807 |
| 未収入金 | 187,749 | 118,584 | 67,917 | △50,666 |
| 有価証券 | 427,074 | 291,995 | 350,998 | 59,002 |
| たな卸資産 | 2,361 | 2,406 | 2,655 | 249 |
| 前渡金 | - | - | 222 | 222 |
| 前払費用 | 6,208 | 10,506 | 5,772 | △4,734 |
| 未収収益 | 99 | 46 | 36 | △9 |
| 差入保証金 | - | - | 50 | 50 |
| 資産合計 | 80,657,400 | 80,413,653 | 81,002,371 | 588,717 |

負債の部

(単位：千円)

| 科 目 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 増減 H29-H28 |
|-------------------|------------------|------------------|------------------|----------------|
| 固定負債 | 6,369,358 | 6,530,092 | 6,468,818 | △61,273 |
| 資産見返負債 | 5,831,967 | 5,998,527 | 6,048,032 | 49,504 |
| 長期借入金 | 63,936 | 59,940 | 55,944 | △3,996 |
| 引当金 | 1,158 | - | - | - |
| 資産除去債務 | 19,316 | 19,653 | 19,990 | 337 |
| 長期リース債務 | - | - | 6,887 | 6,887 |
| 預り峰が丘地域貢献ファンド寄託基金 | 445,000 | 445,000 | 332,000 | △113,000 |
| 長期預り金 | 7,980 | 6,972 | 5,964 | △1,008 |
| 流動負債 | 1,728,147 | 2,061,691 | 2,422,910 | 361,219 |
| 運営費交付金債務 | - | 0 | 57,929 | 57,929 |
| 寄附金債務 | 504,154 | 658,853 | 697,103 | 38,250 |
| 前受受託研究費 | 13,970 | 17,469 | 25,716 | 8,246 |
| 前受共同研究費 | - | 32,378 | 34,136 | 1,757 |
| 前受受託事業費等 | 66 | - | - | - |
| 前受金 | 82 | 54 | 6,065 | 6,010 |
| 預り研究費補助金等 | 56,265 | 55,564 | 66,010 | 10,445 |
| 預り金 | 77,450 | 103,792 | 79,231 | △24,560 |
| 一年以内返済予定長期借入金 | 3,996 | 3,996 | 3,996 | - |
| 未払金 | 1,012,415 | 1,128,070 | 1,396,809 | 268,739 |
| リース債務 | - | - | 2,253 | 2,253 |
| 前受収益 | 540 | 540 | 540 | - |
| 未払費用 | 49,858 | 47,720 | 48,679 | 958 |
| 未払消費税等 | 2,238 | 10,245 | 493 | △9,752 |
| 引当金 | 7,108 | 3,005 | 3,946 | 940 |
| 負債合計 | 8,097,506 | 8,591,784 | 8,891,729 | 299,945 |

純資産の部

| 科 目 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 増減 H29-H28 |
|------------------|-------------------|-------------------|-------------------|----------------|
| 資本金 | 73,579,312 | 73,540,828 | 73,540,828 | - |
| 政府出資金 | 73,579,312 | 73,540,828 | 73,540,828 | - |
| 資本剰余金 | △1,561,196 | △2,281,462 | △1,873,220 | 408,241 |
| 資本剰余金 | 7,127,029 | 7,092,539 | 8,179,909 | 1,087,370 |
| 損益外減価償却累計額(-) | △8,718,275 | △9,403,714 | △10,072,706 | △668,991 |
| 損益外減損損失累計額(-) | △611 | △611 | △10,411 | △9,799 |
| 損益外利息費用累計額(-) | △3,485 | △3,822 | △4,160 | △337 |
| 民間出えん金 | 34,147 | 34,147 | 34,147 | - |
| 利益剰余金 | 541,777 | 562,503 | 443,034 | △119,469 |
| 前中期目標期間繰越積立金 | 3,950 | 436,461 | 186,461 | △250,000 |
| 教育研究・組織運営改善充実積立金 | 279,904 | - | 126,042 | 126,042 |
| 積立金 | 8,074 | - | - | - |
| 当期末処分利益 | 249,848 | 126,042 | 130,530 | 4,488 |
| 純資産合計 | 72,559,893 | 71,821,869 | 72,110,641 | 288,772 |
| 負債純資産合計 | 80,657,400 | 80,413,653 | 81,002,371 | 588,717 |

■損益計算書

(単位：千円)

| 科 目 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 増減 H29-H28 |
|-----------------|-------------------|-------------------|-------------------|----------------|
| 経常費用 | | | | |
| 業務費 | 9,492,126 | 9,543,930 | 9,513,137 | △30,792 |
| 教育経費 | 1,203,929 | 1,142,566 | 1,212,930 | 70,363 |
| 研究経費 | 681,769 | 616,089 | 748,486 | 132,397 |
| 教育研究支援経費 | 306,214 | 269,662 | 265,149 | △4,512 |
| 受託研究費 | 419,607 | 262,251 | 276,147 | 13,895 |
| 共同研究費 | - | 117,391 | 122,575 | 5,184 |
| 受託事業費等 | 116,490 | 120,445 | 134,629 | 14,184 |
| 役員人件費 | 86,912 | 87,626 | 88,982 | 1,355 |
| 教員人件費 | 4,815,067 | 5,022,601 | 4,828,125 | △194,475 |
| 職員人件費 | 1,862,135 | 1,905,295 | 1,836,110 | △69,185 |
| 一般管理費 | 508,402 | 426,445 | 420,398 | △6,046 |
| 財務費用 | 913 | 859 | 850 | △8 |
| 雑損 | 11,652 | 16,904 | 8,157 | △8,746 |
| 経常費用合計 | 10,013,095 | 9,988,139 | 9,942,545 | △45,594 |
| 経常収益 | | | | |
| 運當費交付金収益 | 5,657,348 | 5,656,961 | 5,515,549 | △141,411 |
| 授業料収益 | 2,332,124 | 2,320,144 | 2,346,203 | 26,059 |
| 入学金収益 | 396,311 | 395,496 | 393,015 | △2,481 |
| 検定料収益 | 72,720 | 68,662 | 68,862 | 200 |
| 講習料収益 | 30,012 | 28,715 | 28,438 | △276 |
| 受託研究収益 | 421,203 | 263,502 | 277,820 | 14,318 |
| 共同研究収益 | - | 117,778 | 123,209 | 5,430 |
| 受託事業等収益 | 116,711 | 120,445 | 134,629 | 14,184 |
| 寄附金収益 | 193,378 | 168,051 | 193,466 | 25,415 |
| 施設費収益 | 52,007 | 10,172 | 29,314 | 19,142 |
| 補助金等収益 | 164,669 | 201,326 | 262,168 | 60,841 |
| 資産見返戻入 | 413,729 | 384,647 | 402,803 | 18,155 |
| 財務収益 | 935 | 451 | 453 | 1 |
| 雑益 | 290,715 | 285,525 | 270,863 | △14,661 |
| 経常収益合計 | 10,141,866 | 10,021,881 | 10,046,799 | 24,917 |
| 経常利益 | 128,770 | 33,742 | 104,254 | 70,511 |
| 臨時損失 | 5,606 | 9,800 | 8,699 | △1,101 |
| 臨時利益 | 105,420 | - | - | - |
| 目的積立金取崩額 | 21,263 | - | - | - |
| 前中期目標期間繰越積立金取崩額 | - | 102,100 | 34,975 | △67,124 |
| 当期総利益 | 249,848 | 126,042 | 130,530 | 4,488 |

■ キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| 科 目 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 増減 H29-H28 |
|-----------------------------|------------------|------------------|------------------|-----------------|
| I 業務活動によるキャッシュ・フロー | | | | |
| 原材料、商品又はサービスの購入による支出 | △2,042,815 | △1,852,182 | △2,019,617 | △167,435 |
| 人件費支出 | △6,815,842 | △6,938,956 | △7,040,574 | △101,617 |
| その他の業務支出 | △480,461 | △377,662 | △370,230 | 7,431 |
| 運営費交付金収入 | 5,776,099 | 5,657,858 | 5,577,301 | △80,557 |
| 授業料収入 | 2,314,853 | 2,362,284 | 2,332,305 | △29,979 |
| 入学金収入 | 383,057 | 386,331 | 382,581 | △3,750 |
| 検定料収入 | 72,482 | 67,900 | 68,292 | 392 |
| 受託研究収入 | 400,242 | 291,832 | 320,800 | 28,968 |
| 共同研究収入 | - | 136,937 | 127,744 | △9,193 |
| 受託事業等収入 | 113,901 | 119,868 | 123,352 | 3,483 |
| 補助金等収入 | 200,465 | 381,907 | 628,035 | 246,127 |
| 補助金等の精算による返還金の支出 | △12,237 | △13,094 | △1,158 | 11,935 |
| 寄附金収入 | 159,403 | 302,767 | 221,863 | △80,903 |
| 預り金収入 | 154,599 | 134,480 | 159,439 | 24,958 |
| 預り金支出 | △169,931 | △126,359 | △151,918 | △25,559 |
| その他収入 | 313,252 | 300,796 | 295,807 | △4,989 |
| 小 計 | 367,069 | 834,710 | 654,023 | △180,687 |
| 国庫納付金の支払額 | - | △3,215 | - | 3,215 |
| 業務活動によるキャッシュ・フロー | 367,069 | 831,494 | 654,023 | △177,471 |
| II 投資活動によるキャッシュ・フロー | | | | |
| 有価証券の取得による支出 | - | △3,390,000 | △400,514 | 2,989,485 |
| 有価証券の償還による収入 | - | 3,427,000 | 292,000 | △3,135,000 |
| 有形固定資産及び無形固定資産の取得による支出 | △667,572 | △625,403 | △1,103,193 | △477,789 |
| 有形固定資産及び無形固定資産の売却による収入 | 132 | 65,292 | - | △65,292 |
| 定期預金預入れによる支出 | △3,190,000 | △102,000 | △2,400,000 | △2,298,000 |
| 定期預金払戻による収入 | 3,190,000 | 190,000 | 2,402,000 | 2,212,000 |
| 施設費による収入 | 381,023 | 169,612 | 793,496 | 623,884 |
| 施設費の精算による返還金の支出 | - | △11,506 | - | 11,506 |
| 大学改革支援・学位授与機構への納付による支出 | - | △32,146 | - | 32,146 |
| 小 計 | △286,416 | △309,151 | △416,211 | △107,059 |
| 利息の受取額 | 887 | 477 | 431 | △46 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △285,529 | △308,673 | △415,779 | △107,105 |
| III 財務活動によるキャッシュ・フロー | | | | |
| 長期借入金の返済による支出 | △3,996 | △3,996 | △3,996 | - |
| リース債務の返済による支出 | - | - | △1,118 | △1,118 |
| 預り峰が丘地域貢献ファンド寄託基金による受入 | - | - | 2,000 | 2,000 |
| 預り峰が丘地域貢献ファンド寄託基金による払出 | - | - | △115,000 | △115,000 |
| 小 計 | △3,996 | △3,996 | △118,114 | △114,118 |
| 利息の支払額 | △913 | △859 | △850 | 8 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △4,909 | △4,855 | △118,965 | △114,110 |
| IV 資金の増加額（又は減少額） | 76,630 | 517,965 | 119,277 | △398,688 |
| V 資金期首残高 | 1,483,436 | 1,560,067 | 2,078,033 | 517,965 |
| VI 資金期末残高 | 1,560,067 | 2,078,033 | 2,197,310 | 119,277 |

■国立大学法人等業務実施コスト計算書

(単位：千円)

| 科 目 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 増減 H29-H28 |
|--|------------------|------------------|------------------|-----------------|
| I 業務費用 | | | | |
| (1)損益計算書上の費用 | 10,018,701 | 9,997,940 | 9,951,244 | △46,695 |
| 業務費 | 9,492,126 | 9,543,930 | 9,513,137 | △30,792 |
| 一般管理費 | 508,402 | 426,445 | 420,398 | △6,046 |
| 財務費用 | 913 | 859 | 850 | △8 |
| 雑損 | 11,652 | 16,904 | 8,157 | △8,746 |
| 臨時損失 | 5,606 | 9,800 | 8,699 | △1,101 |
| (2)(控除)自己収入等 | △4,068,909 | △3,974,834 | △4,036,370 | △61,535 |
| 授業料収益 | △2,332,124 | △2,320,144 | △2,346,203 | △26,059 |
| 入学料収益 | △396,311 | △395,496 | △393,015 | 2,481 |
| 検定料収益 | △72,720 | △68,662 | △68,862 | △200 |
| 講習料収益 | △30,012 | △28,715 | △28,438 | 276 |
| 受託研究収益 | △421,203 | △263,502 | △277,820 | △14,318 |
| 共同研究収益 | - | △117,778 | △123,209 | △5,430 |
| 受託事業等収益 | △116,711 | △120,445 | △134,629 | △14,184 |
| 寄附金収益 | △193,378 | △168,051 | △193,466 | △25,415 |
| 資産見返運営費交付金等戻入 | △213,910 | △213,678 | △222,810 | △9,131 |
| 資産見返寄附金戻入 | △75,355 | △56,664 | △47,779 | 8,885 |
| 財務収益 | △935 | △451 | △453 | △1 |
| 雑益 | △216,141 | △221,243 | △199,680 | 21,563 |
| 臨時利益 | △104 | - | - | - |
| 業務費用合計 | 5,949,792 | 6,023,105 | 5,914,874 | △108,231 |
| II 損益外減価償却相当額 | 748,824 | 730,065 | 712,772 | △17,292 |
| III 損益外減損損失相当額 | - | - | 9,799 | 9,799 |
| IV 損益外有価証券損益相当額(確定) | - | - | - | - |
| V 損益外有価証券損益相当額(その他) | - | - | - | - |
| VI 損益外利息費用相当額 | 306 | 337 | 337 | 0 |
| VII 損益外除売却差額相当額 | 32,647 | 16,574 | 16,490 | △83 |
| VIII 引当外賞与増加見積額 | △5,802 | △3,291 | △5,487 | △2,195 |
| IX 引当外退職給付増加見積額 | 279,482 | △130,406 | △107,888 | 22,517 |
| X 機会費用 | 1,030 | 50,798 | 45,330 | △5,467 |
| 国又は地方公共団体の無償又は減額された 使用料による貸借取引の機会費用 | 1,030 | 4,426 | 13,353 | 8,926 |
| 政府出資の機会費用 | - | 46,371 | 31,977 | △14,394 |
| XI (控除) 国庫納付額 | - | - | - | - |
| XII 国立大学法人等業務実施コスト | 7,006,281 | 6,687,182 | 6,586,229 | △100,952 |

| 科 目 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 増減 H29-H28 |
|---------------------|-------------------|-------------------|-------------------|------------------|
| 収入 | | | | |
| 運営費交付金 | 5,673,997 | 5,657,857 | 5,519,371 | △ 138,486 |
| 施設整備費補助金 | 271,623 | 143,612 | 767,496 | 623,884 |
| 補助金等収入 | 206,760 | 281,060 | 557,528 | 276,467 |
| 大学改革支援・学位授与機構施設費交付金 | 32,000 | 26,000 | 26,000 | - |
| 自己収入 | 3,069,796 | 3,182,678 | 3,074,708 | △ 107,970 |
| 授業料，入学料及び検定料収入 | 2,770,394 | 2,816,517 | 2,783,179 | △ 33,338 |
| 財産処分収入 | - | 65,292 | - | △ 65,293 |
| 雑収入 | 299,402 | 300,868 | 291,530 | △ 9,339 |
| 産学連携等研究収入及び寄附金収入等 | 682,543 | 839,174 | 765,417 | △ 73,757 |
| 引当金取崩 | 47,393 | 8,266 | 3,006 | △ 5,261 |
| 目的積立金取崩 | 127,278 | - | - | - |
| 前中期目標期間繰越積立金取崩 | - | 150,048 | 202,052 | 52,003 |
| 計 | 10,111,392 | 10,288,698 | 10,915,580 | 626,882 |
| 支出 | | | | |
| 業務費 | 8,775,692 | 8,799,681 | 8,655,696 | △ 143,986 |
| 教育研究経費 | 8,775,692 | 8,799,681 | 8,655,696 | △ 143,986 |
| 施設整備費 | 303,623 | 169,612 | 793,496 | 623,884 |
| 補助金等 | 206,760 | 281,060 | 557,520 | 276,460 |
| 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等 | 681,299 | 663,653 | 722,442 | 58,788 |
| 長期借入金償還金 | 3,996 | 3,996 | 3,996 | - |
| 大学改革支援・学位授与機構施設費納付金 | - | 32,146 | - | △ 32,146 |
| 計 | 9,971,372 | 9,950,149 | 10,733,150 | 783,000 |
| 収入 - 支出 | 140,020 | 338,548 | 182,430 | △ 156,118 |

「宇都宮大学 3 C 基金」へのご協力をお願い

宇大サポーターになってください！

「もっとも学生を大切に育てる大学でありたい」「もっとも地域から信頼される大学でありたい」そして、そのベースとなる「あらたな知を創造し続ける大学でありたい」これが宇都宮大学の夢です。

これまで宇都宮大学は、学問と現実社会を正しくつなげた実学の伝統を大切に、地域に根ざした人材の育成と、地域とつながった先端的研究の推進によって、地方国立大学としての社会的役割を果たす中で夢の実現をめざしてきました。

このたび創立70周年（平成31年11月）を迎えるにあたり、宇都宮大学は宇大スピリット 3 C精神をモットーに、「地域の知の拠点」としての教育・研究機能をさらに高め、変貌する地域社会を支える人材の養成や地域と連携したイノベーション創出によって地域を元気にするエンジンになりたい、と決意を新たにしました。

しかしながら、国の厳しい財政事情の中、宇都宮大学らしい強みをさらに伸ばすためには、財政的基盤を強化することが急務であり、さらにはより多くの方々から愛され支えられているという構成員の自負と責任感を高めることが不可欠だと思っています。そのため、OBの方々、地域の方々、お世話になっている企業や組織の方々に、是非とも宇大のサポーターになって頂きたいとの願いから「宇都宮大学 3 C 基金」を創設しました。宇都宮大学の夢を実現するため、ご協力とご支援をお願い申し上げます。



宇都宮大学長 石田朋靖

◆「宇都宮大学 3 C 基金」事業のご紹介

学生支援

～チャレンジ精神あふれる人材育成をめざして～

- 経済的理由により修学が困難な学生への支援
～飯村チャレンジ奨学金，入学応援奨学金
- 海外留学支援 ～増山奨学金
- 3 C 人材育成のための支援
～斎藤裕奨学金，関スポーツ奨学金
- ボランティア，課外活動への支援
- その他（成績優秀者表彰，学生表彰，就職支援活動支援など）



基盤教育英語（EPUU）用iPad

地域貢献活動支援

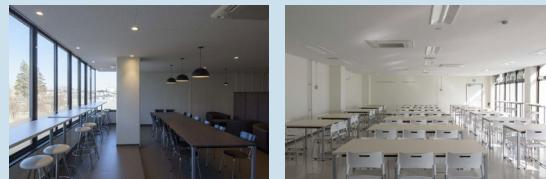
～地域から信頼される大学であり続けるために～

- 地域志向教育研究活動支援
- 地域連携活動支援
- 次世代育成事業

キャンパス環境整備

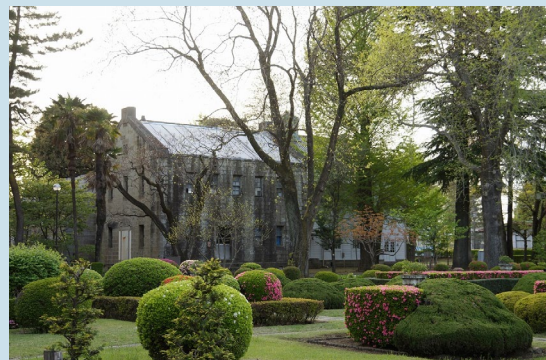
～充実したキャンパスライフのために～

- 石井会館改修（陽東キャンパス）



2階の休憩談話室及び旧軽食喫茶室を食堂に改修し、平成29年10月にリニューアルオープンしました。

- 「学びゾーン」整備計画
（峰キャンパス4号館・5号館改修）
- 「ヒストリカルゾーン」整備計画
（旧図書館書庫（石蔵）改修等）



フランス式庭園から旧図書館書庫（石蔵）を臨む

「宇都宮大学3C基金」へのご寄附の方法について

【一時払い】

■受付金額

<個人の方> 一口 千円。一口以上何口でも結構です。

<法人・団体の方> 一口の金額は特に定めておりません。

一回に10口以上ご寄附いただいた方には特典をご用意しております。(詳細は、3C基金ホームページをご覧ください。)

■郵便局、銀行の窓口をご利用

3C基金専用の「払込取扱票」に必要事項を記入し、ご利用ください。

※ゆうちょ銀行、郵便局、足利銀行本支店および栃木銀行本支店窓口からお振込みいただく場合、手数料は無料です。

その他の金融機関からお振込みいただく場合、手数料を別途ご負担いただくこととなりますのでご了承ください。

■インターネットご利用(クレジットカード・コンビニ払い・インターネットバンキング)

Yahoo! Japan, Google等の検索サイトで「宇都宮大学3C基金」と入力し、検索をお願いします。

※3C基金HPのトップページから、「F-REGI(エフレジ)」ページにお進みいただき、ご寄附の手続きを開始してください。

【継続払い(宇大倶楽部)】

皆さまがより手軽に、継続的に宇大をご支援いただけるよう「**宇大倶楽部**」が発足しました！

※インターネットから一度お申し込みいただくだけで、自動的に会員になり、定期的な寄附が行えます。

毎月千円からご支援をいただけますので、何卒よろしくお願いたします。(詳細はホームページをご覧ください。)

<個人の方> 一年間に合計で1万円以上の継続寄附をお願いいたします。

※「継続寄附」の決済方法はクレジットカードのみとなりますので、3C基金HPより「F-REGI(エフレジ)」ページにお進みください。

その他の決済方法をご希望の方は事務局にご相談ください。

<団体・法人の方> 一口 10万円

※入会申込書を送付しますので事務局にご連絡ください。

【税制上の優遇措置】

<個人からのご寄附>

■所得税控除について

(所得控除) 寄附金額(その年の総所得金額の40%を上限)から2千円を差し引いた額について、課税所得金額に応じた所得税率を乗じた金額が控除されます。

(税額控除) **経済的理由により修学が困難な学生への支援(修学支援事業基金)のみが対象です。**

寄附金額(その年の総所得金額の40%を上限)から2千円を差し引いた額について一律40%を乗じた金額が、その年の所得税から控除されます。

■住民税控除について

お住まいの都道府県・市区町村が条例で本学を指定している場合、2千円を超える部分が税額控除されます。

<法人からのご寄附>

当基金は、法人税法上、全額損金算入が認められる指定寄附金に指定されております。(法人税法第37条第3項第2号)。

ご寄附いただいた寄附金は、法人の所得から控除され、税法上の優遇措置を受けることができます。

宇都宮大学3C基金

3C基金事務局(宇都宮大学企画広報課)

Tel 028-649-8177 Fax 028-649-5026

E-mail kikin@miyajm.utsunomiya-u.ac.jp

http://www.utsunomiya-u.ac.jp/fund/3c_kikin.php

(検索サイトで「宇都宮大学3C基金」で検索してください。)

宇都宮大学3C基金ホームページに簡単アクセス！スマートフォン、携帯電話の方は、下記QRコードをご利用ください。





宇都宮大学
UTSUNOMIYA UNIVERSITY

財務レポート2017

【平成29事業年度】平成29年4月1日～平成30年3月31日

国立大学法人 宇都宮大学 財務部

〒321-8505 栃木県宇都宮市峰町350

TEL 028-649-5042

E-mail kessan@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

<http://www.utsunomiya-u.ac.jp/jyohoukoukai/kessan.php>
